

令和2年度
定期監査報告書

阿蘇市監査委員

目 次

一般会計・特別会計

1	監査の対象	1
2	監査の日程	1
3	監査の要領	1
4	監査の結果	2
《総務部》		
	総務課	4
	財政課	7
	政策防災課	10
	税務課	13
	内牧支所	16
	波野支所	17
《市民部》		
	市民課	19
	人権啓発課	24
	福祉課	29
	ほけん課	32
《経済部》		
	農政課	40
	観光課	43
	まちづくり課	48
《土木部》		
	建設課	51
	住環境課	55
《教育部》		
	教育課	59
	会計課	67
	農業委員会事務局	68
	選挙管理委員会事務局	69
	議会事務局	70
	監査委員事務局	71
	繰出金	72

1 監査の対象

令和2年度一般会計及び特別会計に係る令和2年4月1日から9月30日までの財務事務に関する執行状況。

《総務部》総務課・財政課・政策防災課・税務課・内牧支所・波野支所

《市民部》市民課・人権啓発課・福祉課・ほけん課

《経済部》農政課・観光課・まちづくり課

《土木部》建設課・住環境課

《教育部》教育課・一の宮小学校・阿蘇小学校

会計課・農業委員会事務局・選挙管理委員会事務局・議会事務局・監査委員事務局

2 監査の日程

月	日	曜	課 局 室 名	
			午 前	午 後
10	28	水	税 務 課	
	29	木	建 設 課	
11	4	水	ほけん課	
	5	木	市 民 課	人権啓発課
	10	火	教 育 課	
	11	水	住環境課	
	12	木	内牧支所	阿蘇小学校
	13	金	波野支所	一の宮小学校
	17	火	総 務 課・選挙管理委員会	
	18	水	農 政 課	
	19	木	まちづくり課	
	24	火	農業委員会事務局・議会事務局・会計課・監査委員事務局	
	25	水	観 光 課	
12	22	火	福 祉 課	
	23	水	財 政 課	
	24	木	政策防災課	

3 監査の要領

本監査は、阿蘇市監査基準に掲げる監査等の目的を基本とし、予算の執行状況、事務事業の執行と管理運営、物品の出納保管状況等について、あらかじめ提出を求めた監査調書及び関係諸帳簿類並びに執行状況調の事項により審査等を行い、また、必要に応じて関係職員から事情聴取を行うなどの監査を行った。

また、定期監査の結果、改善、是正等を要すると認められる指摘事項については以下の3

つに区分する。

(1) 指摘事項（回答を要しない）

違法又は不当な事項で是正すべき内容であるが、比較的軽易であると認められるもの。

(2) 指摘事項（回答を要するもの）

次のいずれかに該当する重大なものとする。

- ① 法令、条例、規則、通達及び通知等に違反するもののうち重大なもの
- ② 書類の隠蔽、改ざんその他の故意による違反行為
- ③ 重大な過失又は著しい怠慢によって誤りを生じているもの
- ④ 経済性、効率性、有効性の観点から重大な問題があるもの

また、(1)に該当する事項が多数存在するなど、財務事務が全般的に不適正であるものや、前回の定期監査で口頭による改善、是正を求められたにもかかわらず、必要な措置を行っていないもの。

(2) 特別指摘事項

指摘事項のうち、公務の執行や信頼性などに大きな影響を及ぼすもの。また、前回の定期監査での指摘事項と同じ過ちを繰り返したもののうち特に重大なものや、指摘事項に該当する事案が多数存在し、財務事務が著しく不適正であるもの。

4 監査の結果

市の財政に関する事務の執行及び経営に係る事務の管理が、適正かつ効率的に行われているか、また、前年度における指摘事項の改善状況及び事務事業の執行が適正に処理され善処されているかに主眼において監査を実施した。

各課・局・所の講評の際は、それぞれの監査結果について具体的な指摘を行い、重要な事項については、適切な措置をとるよう各課(支所・事務局)長、係長、担当者の見解を口頭による回答を求めた。

総合的な意見としては、財務に関する事務及び事業の執行はおおむね適正であるものと認められたが、昨年の共通指摘事項においても改善していない部分もいくつか見受けられ、引き続き、担当者だけでなく部署全体で周知徹底する必要があると考える。

本年の指摘事項については、回答を要する指摘事項は無く、回答を要しない指摘事項として判断し、全体的な共通指摘として報告する。

【指摘事項】

監査における主な指摘事項・要望事項については、前述で述べたとおり回答を要しない、共通指摘事項として以下のように報告する。

- (1) 各種申請書類について、日付、印鑑、振込先などに不備が多くみられた。事の始まりとなる重要な書類として認識し、適正な事務処理に努められたい。
- (2) 伺書に記入する文書分類番号及び名称が正しく明記されていない。文書分類表は本市の公文書を適切に保存するための基準となっている。阿蘇市情報公開条例などにおいて

も公文書の適正な管理を定められており、基準に沿った管理に努められたい。また、文書分類表の内容に変更が生じる場合は、適宜、総務課との協議を行うこと。

- (3) 市有自動車運行日誌兼在勤地内旅行命令簿における課長、係長、公用車管理主管課長印の漏れ、曜日、天気、使用メーター(使用前、使用后)の未記入が多く見られた。また、出張先が〇〇銀行、社協、HW(ハローワーク)など場所が特定出来ない曖昧な名称で記入されており、これらの改善に徹底されたい。
- (4) 随意契約に関し、法令、財務規則の条項とそぐわないものが見られ、業務内容、特定する業者などをしっかりと見極め、正しい条項を明記するよう努められたい。
- (5) 研修等の出張復命書はそれぞれの命令、目的に対しての報告ではなく、会議内容を羅列したものが多く見られた。受講して今後どのように取り組むかなどの感想や意見の報告をしていただきたい。
- (6) 各業務で使用する税(料)などの収納データと財務会計データについて、調定額、収入済額等の数値が合致しておらず、半期を終える9月末時点での金額更正などを徹底されたい。
- (7) 使用料等の未収金の収納については、例年、通知のみの対応をなされているものがあり、市民の方々に対して不公平感を招くことがないように、回収するための次の段階へと進み、更なる財源確保に努められたい。

結びに

市の財政状況は依然として厳しい状況ではあるが、将来に向けて安定した財政基盤を確立するため、より一層の自主財源確保に努め、事業の徹底した見直しを積極的に推進されたい。同時に最少の費用で最大の効果を発揮しているか、政策目的に沿った事業成果と効果が得られているかなどのより強い精査を願う。

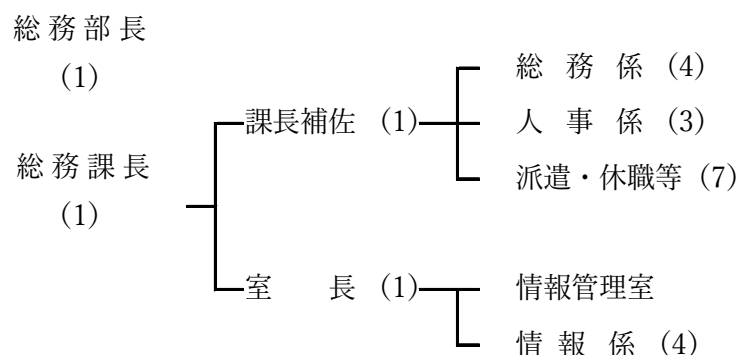
今後とも、職員全員が市の財政状況を常に意識した事務の遂行と市民サービスの向上に努め、また、例規、関係法令等においてもさらに研鑽を積まれ、例年とは異なる、1ランク上の事務執行を図られたい。

【 総 務 部 】

総 務 課

実施日：令和2年11月17日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在） *（ ）数字は職員の配置数



2 予算執行状況

令和2年度総務課の歳入予算現額は2,621,761,000円、9月30日までの収入済額は2,591,439,553円で、収入率は予算現額に対し98.8%、調定額に対し99.8%となる。また、繰越明許については、歳入予算現額14,671,000円で、収入済額は0円である。

歳出においては、予算現額は3,462,056,000円、執行額3,151,896,393円、予算残額310,159,607円で、予算現額に対する執行率は91.0%となる。また、繰越明許については、予算現額は5,071,000円、執行額は同額で、予算現額に対する執行率は100%となっている。予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況（令和2年9月30日現在）

（単位：円：％）

項 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
14 分担金及び負担金	11,171,000	159,104	159,104	0	1.4	100.0
15 使用料及び手数料	128,000	10,875	0	10,875	0.0	0.0
16 国庫支出金	2,597,172,000	2,592,372,000	2,589,105,000	3,267,000	99.6	99.8
18 財産収入	36,000	30,908	30,908	0	85.8	100.0
19 寄附金	600,000	861,400	861,400	0	143.5	100.0
22 諸収入	12,654,000	1,870,695	1,283,141	587,554	10.1	68.5
合 計	2,621,761,000	2,595,304,982	2,591,439,553	3,865,429	98.8	99.8

（繰越明許）

16 国庫支出金	2,000,000	0	0	0	0.0	0.0
22 諸収入	5,071,000	0	0	0	0.0	0.0
23 市債	7,600,000	0	0	0	0.0	0.0
合 計	14,671,000	0	0	0	0.0	0.0

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		3,462,056,000	3,151,896,393	310,159,607	91.0
	1	総務管理費	3,462,056,000	3,151,896,393	310,159,607	91.0
		1 一般管理費	617,696,000	344,417,820	273,278,180	55.7
		8 情報管理費	163,061,000	135,130,273	27,930,727	82.8
		11 光ネットワーク事業費	87,358,000	82,756,182	4,601,818	94.7
		14 地域情報化基盤整備基金費	36,000	30,908	5,092	85.8
		25 特別定額給付金費	2,593,905,000	2,589,561,210	4,343,790	99.8

(繰越明許)

2	総務費		5,071,000	5,071,000	0	100.0
	1	総務管理費	5,071,000	5,071,000	0	100.0
		11 光ネットワーク事業費	5,071,000	5,071,000	0	100.0

3 主な事業概要

(1) 情報係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
ITサポートセンター事業	住民からのパソコンソフトやインターネットなどの利用方法や、パソコン及び周辺機器の操作、家庭内のWi-Fiネットワーク構築などの相談対応を窓口、電話、電子メールなどで行っている。	4,550千円
光ネットワーク事業	阿蘇市と産山村に光ファイバーケーブルによる高速情報ネットワーク網の整備を行い、都市と地方はもとより地域間内での情報格差解消を目指す。約9,000世帯・公共施設などにIP告知端末を設置し、行政からのお知らせや地域の情報などを映像で配信するとともに、高速インターネットサービスを提供する。	87,358千円
市役所情報ネットワーク維持管理事業	市役所本庁と各出先機関をネットワーク化することで、情報を共有し、各種証明発行業務を行う。税務課、福祉課など約70メニューから構成される基幹系総合行政システムや、メール送受信システム及び例規システムなど約10システムから構成される情報系システムを端末約500台で管理運営している。	5,927千円

4 講評・所感

総合行政システム機器リース

総合行政システム機器リース（予定価格 22,462,440 円）について、入札を依頼した 4 社のうち、2 社は辞退、1 社は書類不備、残りの 1 社が落札するという結果になった。書類不備となった 1 社の理由は、入札（見積）書内に文字を訂正するための捨印が漏れていたとのことであった。

入札に参加するという事は、本来、受注するという意思の表れであると解釈するが、昨今、辞退と併せて書類不備になるという状況が多く見受けられ、素人ではあるまいし、このような初歩的なミスを行う業者はコンプライアンスの面からも、以後の入札においては、指名業者候補推薦はもとより、入札には参加させないような気概で対応されたい。

行政区の再編

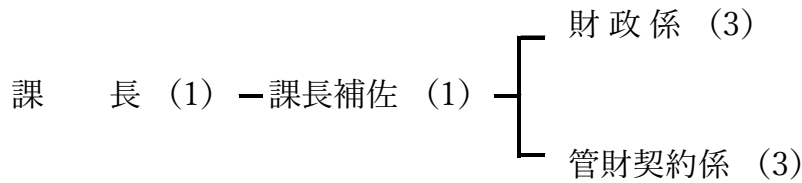
行政区の再編について、市内の行政区の中には、人口減少や高齢化などにより、従来からの集落的機能が低下し、維持・存続が危ぶまれているような地区もある。今後、市としても市民の方々の暮らしの安心を支えるための手段として、新たな「集落のかたち」を検討し、区の再編を促すような協議を進められたい。

財政課

実施日：令和2年12月23日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在）

*（ ）数字は職員の配置数



2 予算執行状況

令和2年度財政課の歳入予算現額は 8,419,517,000 円で、9月30日までの収入済額は 5,364,486,672 円となり、収入率は予算現額に対し 63.7%、調定額に対し 98.6%である。

歳出においては、予算現額 2,342,157,467 円、執行額 1,297,589,195 円、予算残額 1,044,568,272 円、予算現額に対する執行率は 55.4%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

（単位：円：％）

項 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
2 地方譲与税	194,200,000	51,580,000	51,580,000	0	26.5	100.0
3 利子割交付金	1,300,000	604,000	604,000	0	46.4	100.0
4 配当割交付金	3,400,000	2,115,000	2,115,000	0	62.2	100.0
5 株式等譲渡所得割交付金	7,000,000	0	0	0	0.0	0.0
6 法人事業税交付金	15,000,000	11,711,000	11,711,000	0	78.0	100.0
7 地方消費税交付金	550,000,000	332,914,000	332,914,000	0	60.5	100.0
8 ゴルフ場利用税交付金	30,000,000	8,114,684	8,114,684	0	27.0	100.0
10 環境性能割交付金	16,200,000	3,591,000	3,591,000	0	22.1	100.0
11 地方特例交付金	7,500,000	20,811,000	20,811,000	0	277.4	100.0
12 地方交付税	5,832,054,000	4,102,263,000	4,102,263,000	0	70.3	100.0
15 使用料及び手数料	1,427,000	139,200	139,200	0	9.7	100.0
17 県支出金	308,950,000	0	0	0	0.0	0.0
18 財産収入	27,716,000	39,086,411	23,024,710	16,061,701	83.0	58.9
20 繰入金	255,429,000	0	0	0	0.0	0.0
21 繰越金	806,718,000	865,324,511	806,718,711	58,605,800	100.0	93.2
22 諸収入	37,623,000	969,283	900,367	68,916	2.3	92.8
23 市債	325,000,000	0	0	0	0.0	0.0
合 計	8,419,517,000	5,439,223,089	5,364,486,672	74,736,417	63.7	98.6

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		60,784,100	34,547,892	26,236,208	56.8
	1	総務管理費	60,784,100	34,547,892	26,236,208	56.8
		3 財政管理費	900,000	628,532	271,468	69.8
		5 財産管理費	58,514,100	33,421,997	25,092,103	57.1
		12 財政調整基金費	1,000,000	299,734	700,266	29.9
		13 減債基金費	100,000	12,098	87,902	12.0
		15 公共施設管理基金費	30,000	23,066	6,934	76.8
		17 熊本地震復興基金費	40,000	30,526	9,474	76.3
		18 地域振興基金費	200,000	131,939	68,061	65.9
4	衛生費		431,950,000	382,652,000	49,298,000	88.5
	1	保健衛生費	431,950,000	382,652,000	49,298,000	88.5
		1 保健衛生総務費	382,652,000	382,652,000	0	100.0
		12 水道費	49,298,000	0	49,298,000	0.0
5	農林水産業費		20,520,000	11,197,666	9,322,334	54.5
	2	林業費	20,520,000	11,197,666	9,322,334	54.5
		1 市有林管理費	20,520,000	11,197,666	9,322,334	54.5
11	公債費		1,769,910,000	869,191,637	900,718,363	49.1
	1	公債費	1,769,910,000	869,191,637	900,718,363	49.1
		1 元金	1,631,411,000	813,191,390	818,219,610	49.8
		2 利子	138,499,000	56,000,247	82,498,753	40.4
13	予備費		58,993,367	0	58,993,367	0.0
	1	予備費	58,993,367	0	58,993,367	0.0
		1 予備費	58,993,367	0	58,993,367	0.0
		合 計	2,342,157,467	1,297,589,195	1,044,568,272	55.4

3 講評・所感

国の財政状況の厳しい中、財政課におかれては、今後、市の運営に関するかじ取りも重要になるものと感じている。そのような状況を踏まえ、市民の方々に対しては表面上の数値だけでなく、中身、内容までを細心にわたり説明するという重要性を強く肝に銘じ事務に務められたい。なお、監査委員としても協働して説明責任を果たしていきたいと考えている。

九州電力跡地について、購入時の約6分の1以下の価格で売却されている。不動産鑑定も実施されているが、過去の経緯など十分に勘案した上での処理は必要であると感じる。また、今後の売買実例価格等大きく影響することも考えられ、慎重な処理を願う。

《各財産区特別会計》

(単位円：%)

会計	歳入	調定額	収入済額	執行率	歳出	予算現額	支出負担 行為済額	執行率
坂梨 財産区	1 財産収入	0	0	0.0	1 委員会費	2,441,000	773,620	31.6
	2 使用料及び手数料	7,690,400	231,700	3.0	3 財産管理費	530,000	15,000	2.8
	3 分担金及び負担金	0	0	0.0	4 水道管理費	7,790,000	1,579,415	20.2
	5 繰越金	8,721,162	8,721,162	100.0	5 財政調整基金費	6,000	0	0.0
	6 諸収入	1,567,704	1,567,704	100.0	6 予備費	5,362,000	0	0.0
	計	17,979,266	10,520,566	58.5	計	16,129,000	2,368,035	14.6

会計	歳入	調定額	収入済額	執行率	歳出	予算現額	支出負担 行為済額	執行率
古城 財産区	1 財産収入	0	0	0.0	1 委員会費	554,000	15,272	2.7
	2 使用料及び手数料	4,500,000	2,308,180	51.2	3 財産管理費	468,000	400,000	85.4
	4 繰入金	0	0	0.0	4 水道管理費	5,666,000	2,297,866	40.5
	5 繰越金	2,951,338	2,951,338	100.0	5 財政調整基金費	2,000	0	0.0
					6 予備費	1,131,000	0	0.0
	計	7,451,338	5,259,518	70.5	計	7,821,000	2,713,138	34.6

会計	歳入	調定額	収入済額	執行率	歳出	予算現額	支出負担 行為済額	執行率
中通 財産区	1 財産収入	0	0	0.0	1 委員会費	1,295,000	30,172	2.3
	2 使用料及び手数料	10,099,640	4,003,800	39.6	3 財産管理費	1,007,000	840,000	83.4
	4 繰入金	0	0	0.0	4 水道管理費	14,436,000	6,587,991	45.6
	5 繰越金	13,264,594	13,264,594	100.0	5 財政調整基金費	4,000	0	0.0
					6 予備費	7,021,000	0	0.0
	計	23,364,234	17,268,394	73.9	計	23,763,000	7,458,163	31.3

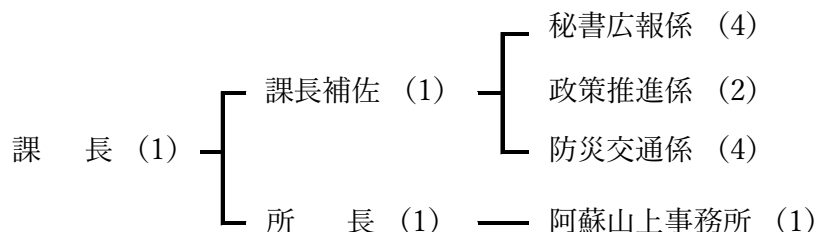
会計	歳入	調定額	収入済額	執行率	歳出	予算現額	支出負担 行為済額	執行率
宮地 財産区	4 繰入金	0	0	0.0	1 委員会費	19,000	0	0.0
	5 繰越金	21,710	21,710	100.0	6 予備費	22,000	0	0.0
	計	21,710	21,710	100.0	計	41,000	0	0.0

政策防災課

実施日：令和2年12月24日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在）

*（ ）数字は職員の配置数



2 予算執行状況

令和2年度政策防災課の歳入予算現額は2,388,123,000円、9月30日までの収入済額は177,246,377円、収入率は予算現額に対し7.4%、調定額に対し99.9%である。また、繰越明許については、歳入予算現額2,400,000円、収入済額は同額で、収入率は予算現額、調定額に対しても100%である。

歳出においては、予算現額2,597,201,000円、執行額2,097,165,885円、予算残額500,035,115円で、予算現額に対する執行率は80.7%となっている。また、繰越明許については、予算現額12,000,000円、執行額は11,872,729円、予算現額に対する執行率は98.9%である。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
13 交通安全対策特別交付金	3,000,000	1,837,000	1,837,000	0	61.2	100.0
14 分担金及び負担金	270,000	0	0	0	0.0	0.0
15 使用料及び手数料	0	149,713	83,713	66,000	0.0	55.9
16 国庫支出金	548,072,000	145,622,000	145,622,000	0	26.5	100.0
17 県支出金	26,715,000	10,858,284	10,858,284	0	40.6	100.0
20 繰入金	38,632,000	18,000,000	18,000,000	0	46.5	100.0
22 諸収入	14,134,000	905,380	845,380	60,000	5.9	93.3
23 市債	1,757,300,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	2,388,123,000	177,372,377	177,246,377	126,000	7.4	99.9
(繰越明許)						
21 繰越金	2,400,000	2,400,000	2,400,000	0	100.0	100.0

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		214,805,000	99,376,944	115,428,056	46.2
	1	総務管理費	194,395,000	94,279,784	100,115,216	48.4
		2 広報公聴費	25,809,000	21,446,965	4,362,035	83.0
		6 企画費	126,429,000	51,707,412	74,721,588	40.8
		7 交通安全対策費	42,157,000	21,125,407	21,031,593	50.1
	5	統計調査費	20,410,000	5,097,160	15,312,840	24.9
		1 統計調査総務費	8,695,000	4,225,577	4,469,423	48.5
		2 指定統計調査費	11,715,000	871,583	10,843,417	7.4
8	消防費		2,382,396,000	1,997,788,941	384,607,059	83.8
	1	消防費	2,382,396,000	1,997,788,941	384,607,059	83.8
		1 非常備消防費	567,463,000	533,171,593	34,291,407	93.9
		2 消防施設費	12,290,000	2,928,014	9,361,986	23.8
		3 災害対策費	66,369,000	22,533,284	43,835,716	33.9
		4 防災行政無線管理費	1,736,274,000	1,439,156,050	297,117,950	82.8
		合計	2,597,201,000	2,097,165,885	500,035,115	80.7

(繰越明許)

8	消防費		12,000,000	11,872,729	127,271	98.9
	1	消防費	12,000,000	11,872,729	127,271	98.9
		2 消防施設費	8,000,000	7,912,729	87,271	98.9
		3 災害対策費	4,000,000	3,960,000	40,000	99.0

3 主な事業概要

(1) 政策推進係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
乗合タクシーの導入及び運行管理	<p>乗合タクシーは、最寄りの停留所から500m以上離れている「公共交通空白地域」等と病院やスーパー等が集まる「市街地」を結ぶ公共交通を担う。乗合タクシー運行事業者は阿蘇市内全タクシー事業者に委託する。</p> <p>12路線（54行政区）運行し、路線ごとに運行曜日・運行時間が異なっており、市民が利用する際には事前予約が必要となる。運行補助金の交付は毎月行い、各乗合タクシー運行事業者に対し、運行経費から利用者が負担する利用料金を差し引いた額を補助する。</p> <p>※生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）の認定申請（6月）</p> <p>※地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持事業）にかかる補助金交付申請書類作成（10月から11月）</p> <p>※地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（1月）</p>	5,000千円

4 講評・所感

荒地の苦情対応について、高額な公費解体（※）を行い更地となった土地を地権者（市外）が放任していることで雑草が生い茂り周辺住民に支障をきたしている。公費を受けているのにも関わらず、その後の管理を行わない行為は許し難いものであり、地権者の速やかな対応を期待しても改善されなければ、結果的に職権の許す限りにおいて、危険物の撤去などを市が代執行し、その後、地権者が未払いとなれば最終的に市が負担するという可能性もある。

いずれにせよ、法的ハードルも高い案件になると思われ、慎重な対応を願う。

※ 災害等廃棄物処理事業費補助金（環境省）

税務課

実施日：令和2年10月28日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在）

*（ ）数字は職員の配置数

課長（1）	—	課長補佐（1）	—	資産税係（5）
			—	市民税係（5）
			—	収税係（4）
			—	うち再任用短（1）
			—	地籍係（4）

2 予算執行状況

令和2年度税務課の歳入予算現額は3,088,845,000円、9月30日までの収入済額は1,748,832,130円で、収入率は予算現額に対し56.6%、調定額に対し86.2%である。

歳出においては、予算現額245,822,000円、執行額139,831,641円、予算残額105,990,359円で、予算現額に対する執行率は56.8%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
1 市税	3,016,216,000	2,012,682,747	1,731,969,281	280,713,466	57.4	86.0
15 使用料及び手数料	3,997,000	2,659,500	1,535,870	1,123,630	38.4	57.7
17 県支出金	60,431,000	13,337,926	13,337,926	0	22.0	100.0
22 諸収入	8,201,000	1,000	1,989,053	△1,988,053	24.2	198,905.3
合計	3,088,845,000	2,028,681,173	1,748,832,130	279,849,043	56.6	86.2

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		210,608,000	112,954,385	97,653,615	53.6
	2	徴税費	210,608,000	112,954,385	97,653,615	53.6
		1 税務総務費	145,781,000	73,384,995	72,396,005	50.3
		2 賦課徴収費	64,827,000	39,569,390	25,257,610	61.0
5	農林水産業費		35,214,000	26,877,256	8,336,744	76.3
	1	農業費	35,214,000	26,877,256	8,336,744	76.3
		7 地籍調査事業費	35,214,000	26,877,256	8,336,744	76.3
		合計	245,822,000	139,831,641	105,990,359	56.8

市税徴収状況調

(単位：円：%)

現 年 分	科 目	調定額	収納額	過誤納額	収入未済額	収納率
	市民税（個人）	934,987,300	430,706,195	303,234	504,584,339	46.0
	市民税（法人）	94,194,600	89,954,200	0	4,240,400	95.4
	固定資産税	1,525,214,500	924,919,800	188,700	600,483,400	60.6
	国有資産等所在市町村 交付金及び納付金	5,462,300	5,462,300	0	0	100.0
	軽自動車税	105,494,200	99,174,720	14,400	6,333,880	94.0
	市たばこ税	93,125,948	93,125,948	0	0	100.0
	鉱産税	7,400	7,400	0	0	100.0
	入湯税	5,421,180	5,308,380	0	112,800	97.9
	計	2,763,907,428	1,648,658,943	506,334	1,115,754,819	59.6

滞 納 繰 越 分	科 目	調定額	収納額	過誤納額	収入未済額	収納率
	市民税（個人）	70,513,829	8,588,961	21,961	61,946,829	12.1
	市民税（法人）	4,134,658	232,100	0	3,902,558	5.6
	固定資産税	174,846,985	11,797,783	17,000	163,066,202	6.7
	軽自動車税	8,796,881	1,430,407	0	7,366,474	16.2
計	258,292,353	22,049,251	38,961	236,282,063	8.5	

3 主な事業概要

(1) 資産税係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
令和3年基準年度 評価替事業	<p>平成30年度から令和2年度の3箇年事業</p> <p>固定資産の価格は「適正な時価」を課税標準として課税されるもので、原則として3年毎に評価額を見直す制度（評価替え）がとられている。評価替事業は資産価格の変動に対応するため、適正な均衡な価格に見直し、納税者間における税負担の公平に繋げる事業である。</p> <p>契約全体額 16,178,400円 平成30年度 4,222,800円 平成31年度 5,562,000円 令和2年度 6,393,600円</p>	6,394千円

(2) 地籍係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
波野地区地籍調査事業	(1) 阿蘇市波野大字波野及び大字中江の一部 実施面積 2.59 k m ² (446筆)	25,194千円 国50% 県25% 市25%
	(2) 阿蘇市波野大字小地野及び大字中江の一部 実施面積 2.22 k m ² (546筆)	
	(3) 阿蘇市波野大字小地野及び大字中江の一部 実施面積 1.77 k m ² (580筆)	
	(4) 阿蘇市波野大字小地野及び大字中江の一部 認証請求及び法務局登記 実施面積1.49 k m ² (515筆)	(4) は単独

4 講評・所感

最初に農地に関連する事項として、農地法は、農地は国民のために限られた資源とし、食糧の安定供給の確保に重要な資源であることに鑑み、転用を厳しく規制する法律であると解釈している。とは言え 200 m²未満の農業施設を農地に建てる場合、届出書のみ提出で転用可能（農地法施行規則）となっており、今回、監査した農家レストラン用に供する土地の評価などを見ると、時代に流れに即した法令であることは大変喜ばしいことである。

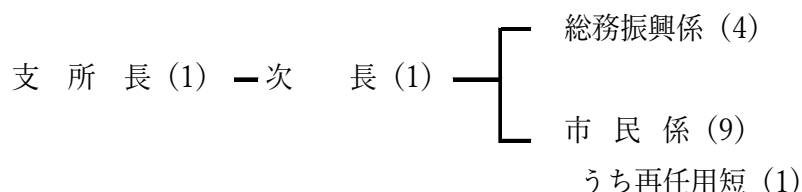
一方で、人口減少・超高齢化社会が進展し、相続多発時代を迎えようとする中、所有者不明土地等問題の解決は喫緊の課題となっていることから、昨年7月、関係閣僚において「所有者不明土地対策の推進に関する基本方針」が策定された。所有者不明土地は、税の賦課徴収はもとより、環境悪化、土地取引などにも大きな影響をきたしており、この問題解消に向けた方針を定めたものである。また、本年2月法制審議会は、長期登記が変更されず放置されている「所有者不明土地」の解消策として、3年以内の相続登記の義務化などを盛り込んだ民法と不動産登記法の改正要綱が法相に答申され、税業務において、追い風となることを強く期待する。

内 牧 支 所

実施日：令和2年11月12日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在）

*（ ）数字は職員の配置数



2 予算執行状況

令和2年度内牧支所の歳入予算現額は267,000円、9月30日までの収入済額101,792円で、収入率は予算現額に対し38.1%、調定額に対し38.0%である。

歳出においては、予算現額137,562,050円、執行額77,521,745円、予算残額60,040,305円で、予算現額に対する執行率は56.3%である。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
15 使用料及び手数料	16,000	16,200	0	16,200	0.0	0.0
22 諸収入	251,000	251,000	101,792	149,208	40.5	40.5
合 計	267,000	267,200	101,792	165,408	38.1	38.0

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		137,562,050	77,521,745	60,040,305	56.3
	1	総務管理費	137,562,050	77,521,745	60,040,305	56.3
		9 内牧支所費	137,562,050	77,521,745	60,040,305	56.3

4 講評・所感

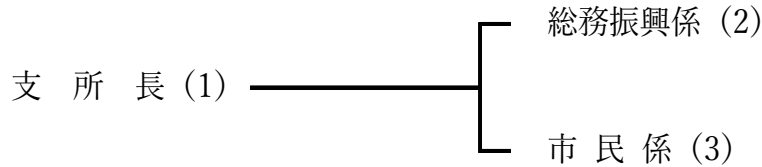
税証明などの交付申請書に添付する委任状について、添付状況は統一されていない。今後、統一されるよう努められたい。

波野支所

実施日：令和2年11月13日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在）

*（ ）数字は職員の配置数



2 予算執行状況

令和2年度波野支所の歳入予算現額は9,512,000円、9月30日までの収入済額2,198,706円で、収入率は予算現額に対し23.0%、調定額に対し23.1%である。

歳出においては、予算現額65,349,000円、執行額32,667,616円、予算残額32,681,384円で、予算現額に対する執行率は49.9%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
15 使用料及び手数料	1,531,000	1,531,000	439,205	1,091,795	28.6	28.6
22 諸収入	7,989,000	7,981,000	1,759,501	6,221,499	22.0	22.0
合計	9,520,000	9,512,000	2,198,706	7,313,294	23.0	23.1

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		56,194,000	27,787,787	28,406,213	49.4
	1	総務管理費	56,194,000	27,787,787	28,406,213	49.4
		10 波野支所費	56,194,000	27,787,787	28,406,213	49.4
4	衛生費		9,155,000	4,879,829	4,275,171	53.3
	1	保健衛生費	9,155,000	4,879,829	4,275,171	53.3
		11 波野保健福祉センター管理費	9,155,000	4,879,829	4,275,171	53.3
		合計	65,349,000	32,667,616	32,681,384	49.9

3 主な事業概要

(1) 市民係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費												
波野地区福祉バス運行事業	<p>波野地域は、タクシー事業者や乗合タクシーの運行がなく、自宅から公共交通機関までの距離が遠いため、交通手段の確保策として、要綱で定めた波野地域内と竹田市の荻の里温泉を含む11箇所の送迎を実施する。</p>	2,403千円												
	令和2年度実績													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="485 622 751 663">運行月</th> <th data-bbox="751 622 927 663">運行可能日</th> <th data-bbox="927 622 1051 663">運行日</th> <th data-bbox="1051 622 1244 663">延べ利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="485 663 751 703">令和2年（4月～9月）</td> <td data-bbox="751 663 927 703">119日</td> <td data-bbox="927 663 1051 703">94日</td> <td data-bbox="1051 663 1244 703">542人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="485 703 751 743">昨年同月</td> <td data-bbox="751 703 927 743">119日</td> <td data-bbox="927 703 1051 743">97日</td> <td data-bbox="1051 703 1244 743">667人</td> </tr> </tbody> </table>		運行月	運行可能日	運行日	延べ利用者数	令和2年（4月～9月）	119日	94日	542人	昨年同月	119日	97日	667人
	運行月		運行可能日	運行日	延べ利用者数									
	令和2年（4月～9月）		119日	94日	542人									
	昨年同月		119日	97日	667人									
	平成31年度実績													
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="485 797 751 837">運行月</th> <th data-bbox="751 797 927 837">運行可能日</th> <th data-bbox="927 797 1051 837">運行日</th> <th data-bbox="1051 797 1244 837">延べ利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="485 837 751 878">4月～3月</td> <td data-bbox="751 837 927 878">233日</td> <td data-bbox="927 837 1051 878">194日</td> <td data-bbox="1051 837 1244 878">1,506人</td> </tr> </tbody> </table>	運行月	運行可能日	運行日	延べ利用者数	4月～3月	233日	194日	1,506人						
運行月	運行可能日	運行日	延べ利用者数											
4月～3月	233日	194日	1,506人											

3 講評・所感

農家台帳の交付申請を代理人が行う際、委任状に記載する委任者名は、本来、本人が記入すべきであるところ全てが同じ筆跡であった。今後、市民の方々に不公平感が生じることがないように取り扱いに努められたい。

波野地区福祉バス運行事業の利用状況は、令和元年度の運行日数 200 日、利用者数 1,506 人であった。今後、地域の課題として高齢の利用者も増加すると思われ、昇降などに支障をきたす方々への対策が必要にあると感じる。

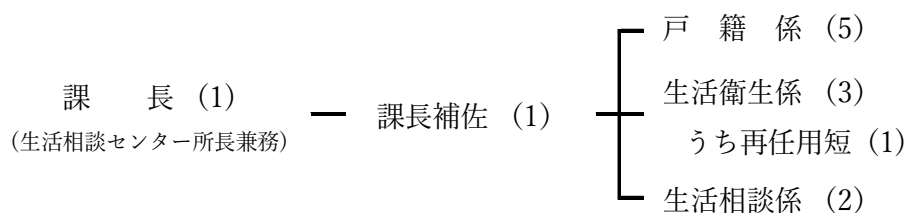
【 市 民 部 】

市民課

実施日：令和2年11月5日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在）

*（ ）数字は職員の配置数



2 予算執行状況

令和2年度市民課の歳入予算現額は61,099,000円、9月30日までの収入済額10,935,800円で、収入率は予算現額に対し17.8%、調定額に対し53.4%である。

歳出においては、予算現額798,508,320円、執行額711,243,189円、予算残額87,265,131円で、予算現額に対する執行率は89.0%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
15 使用料及び手数料	16,524,000	16,524,000	7,412,800	9,111,200	44.8	44.8
16 国庫支出金	34,956,000	3,838,000	3,473,000	365,000	9.9	90.4
17 県支出金	579,000	71,500	0	71,500	0.0	0.0
22 諸収入	9,040,000	40,000	50,000	△10,000	0.5	125.0
合 計	61,099,000	20,473,500	10,935,800	9,537,700	17.8	53.4

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		141,333,000	67,995,823	73,337,177	48.1
	3	戸籍住民基本台帳費	141,333,000	67,995,823	73,337,177	48.1
		1 戸籍住民基本台帳費	141,333,000	67,995,823	73,337,177	48.1
3	民生費		14,641,000	3,428,575	11,212,425	23.4
	1	社会福祉費	3,375,000	1,107,385	2,267,615	32.8
		13 消費生活センター運営費	3,375,000	1,107,385	2,267,615	32.8
	5	生活困窮者対策費	11,266,000	2,321,190	8,944,810	20.6
		1 生活困窮者自立支援費	11,266,000	2,321,190	8,944,810	20.6
4	衛生費		642,534,320	639,818,791	2,715,529	99.5
	1	保健衛生費	30,660,000	29,966,826	693,174	97.7
		5 生活衛生費	30,660,000	29,966,826	693,174	97.7
	2	清掃費	611,874,320	609,851,965	2,022,355	99.6
		1 塵芥処理費	388,152,320	386,129,965	2,022,355	99.4
		2 し尿処理費	223,722,000	223,722,000	0	100.0
		合計	798,508,320	711,243,189	87,265,131	89.0

3 主な事業概要

(1) 戸籍係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
戸籍事務	<ul style="list-style-type: none"> ・戸籍法に基づく戸籍届書の審査及び受理(1月～9月：609件) ・戸籍届書の受理後、速やかな記載及び関係市町村への送付業務 ・戸籍関係証明書及び各種証明書等の窓口(郵便請求)による交付請求に係る交付事務(4月～9月：7,277件) 	4,092千円
住民基本台帳事務	<ul style="list-style-type: none"> ・住民基本台帳法に基づく住民異動届書の審査及び受領(4月～9月：981人) ・転出、転入者における各種手続きのため、各課での必要な手続きを把握し、各課への手続を案内する。 ・住民異動届書受領後の住民記録システム入力、住民票や転出証明書等の発行業務 ・住民票の写し及び各種証明書等の窓口及び郵便での請求に係る交付事務(4月～9月：7,120件) ・マイナンバーカード交付関連事業 	15,672千円 補助率 100%

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
証明書コンビニ交付	・平成31年2月1日開始（4月～9月：1,130件）	4,889千円

(2) 生活衛生係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
家庭用生ごみ処理機 ・処理容器推進事務	<ul style="list-style-type: none"> ・各世帯から排出される生ごみの減量化及び堆肥として資源化を図る、生ごみ処理機及び処理容器を設置する者に対して、補助支援を行う。 ※ 9月末現在の申請者数（処理機4基・処理容器25基） 	260千円
一般廃棄物収集 運搬事業	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物を適正に処理し環境保全と公衆衛生の向上を図る。 ➢支払済額 <ul style="list-style-type: none"> (有)シティクリーン 7,453,991円 (有)美郷阿蘇 9,059,138円 ➢令和元年度一般廃棄物収集運搬事業 <ul style="list-style-type: none"> 可燃性ごみ4,410 t、不燃ごみ124t、資源ごみ323 t、 容器包装回収物317t 	39,631千円

(3) 生活相談係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
消費生活センター 運営事業	<p>1 消費生活相談</p> <p>9月までの相談件数 216件（昨年度末実績314件）</p> <p>(1)消費生活相談…消費者からの相談に対し、自主解決のため助言や斡旋等を行い、消費者利益の擁護と増進を図る。</p> <p>(2)全国消費生活情報ネットワークの管理等…独立行政法人国民生活センターの消費生活情報ネットワークシステムに情報を提供し、苦情相談等の迅速な処理と被害発生情報等の的確な把握に努める。</p> <p>(3)各種会議・研修などへの参加…複雑多様化する消費者問題や新たな法律の制定・改正に対応するため、国民生活センター、熊本県が主催する研修講座や関係機関が実施する研修会等に参加し、職員や相談員の資質向上に努める。</p> <p>(4)庁内連携…消費者被害や多重債務問題等の解決のため、関係各課と連携し、取組状況や事例などについて情報交換を密にし、連携体制の強化を図る。</p> <p>2 消費者教育・啓発</p> <p>(1)各種啓発資料の作成</p> <p>①リーフレット等を作成し、地域で開催される各種講座において配布する。</p>	3,375千円 補助率 50%

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
	<p>②各種団体等の依頼により資料を提供する。</p> <p>(2)講師派遣の実施 講師派遣回数1回（昨年度実績12回） 各種団体などが開催する消費者啓発講座などへ、意識の啓発、消費生活の安定・向上のための支援をする。</p> <p>(3)阿蘇市見守りネットワーク体制強化 研修会開催1回（令和3年1月開催予定） ①見守りネットワーク推進員への研修を実施、地域での見守り体制の強化を図る。 ②見守りネットワーク参加団体等が、取組状況や被害情報交換を密にし、統一して被害防止の呼びかけや啓発講座を実施するなど、実効性のあるものにする。</p> <p>(4)多重債務者対策庁内連絡会議 研修会開催1回（11月開催予定） 庁内関係部署との連携の推進により、多重債務問題の解決を図る。</p> <p>(5)消費者被害防止の推進…国民生活センターが発行する見守り新鮮情報及び熊本県からの消費者被害情報をお知らせ端末や広報誌に転載する。</p> <p>(6)広報等を通じた啓発活動…広報媒体(広報誌、ホームページ、お知らせ端末)を通じ、消費者問題を一般消費者への啓発を働きかける。</p>	
生活困窮者自立支援事業	<p>1 生活困窮者自立支援の取り組み 生活保護に至る前の生活困窮者が困窮状態から早期に脱却するため、「生活困窮者自立支援法」に基づき、生活困窮者の状態に応じた包括的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を構築するため、「生活困窮者自立相談支援事業」を行う。</p> <p>(1)自立相談支援事業 生活困窮者の課題の把握、支援計画を踏まえた包括的な支援、地域のネットワークづくり等を実施する。</p> <p>(2)一時生活支援事業 一定の住居のない生活困窮者に対し、一時的な宿泊場所や衣食を提供する。</p> <p>(3)住居保給付金 離職等により経済的に困窮し、住居を失った又はその恐れのある方を対象に、住居保給付金を支給することにより、安定した住居の確保と就労機会の確保に向けた支援を実施する。</p>	10,203千円 補助率 50% ～75%

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
	<p>(4)就労準備支援事業 一般就労に向けた生活習慣の確立、社会参加能力の形成、就労体験等の支援を実施する。</p> <p>(5)家計改善支援事業 家計収支全体の改善のため、家計管理に関する指導、貸し付けのあっせん等の支援を実施する。</p> <p>(6)自立相談支援機関による就労支援 ハローワーク等の専門機関と連携のうえ、同行による求職活動支援等を実施する。</p> <p>(7)子どもの学習・生活支援事業 家庭の事情等により、子どもに学習等を受けさせられない生活困窮家庭に対して、勉強の遅れを取り戻し、高校中退等を防止するための学習支援、不規則な生活となっている子どもへの生活支援、体験活動等を行う。</p>	

4 講評・所感

平成 30 年 11 月 15 日、法務省及び国土交通省が所管する「所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法」の一部が施行され、法務省関連の制度として、登記官が、所有者の登記名義人の死亡後長期間にわたり相続がされていない土地について、亡くなった方の法廷相続人等を探索した上で、職権で、長期間相続登記未了である旨等を付記し、法定相続人等に登記手続を直接促すなどの不動産登記等の特例が設けられた。また、近年、地域高規格道路中九州横断道路などの工事も相まって、法定相続人調査に係る戸籍公用交付申請が激増しているとのことであった。

税務課所管でも述べたとおり、法制審議会による民法などの改正案により、土地相続や登記が大きく変わろうとしており、今後、過疎化が進む本市においても、相続時の登記の義務化について、早期の周知徹底に取り掛かれるよう努められたい。

人権啓発課

実施日：令和2年11月5日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在） *（ ）数字は職員の配置数



2 予算執行状況

令和2年度人権啓発課の歳入予算現額は14,641,000円、9月30日までの収入済額は2,298,332円で、収入率は予算現額に対し15.6%、調定額に対し7.5%である。

歳出においては、予算現額52,706,000円、執行額22,271,519円、予算残額30,434,481円で、予算現額に対する執行率は42.2%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
15 使用料及び手数料	10,000	10,000	1,500	8,500	15.0	15.0
17 県支出金	13,466,000	0	0	0	0.0	0.0
22 諸収入	1,165,000	30,604,395	2,296,832	28,307,563	197.1	7.5
合計	14,641,000	30,614,395	2,298,332	28,316,063	15.6	7.5

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
3	民生費		52,706,000	22,271,519	30,434,481	42.2
	1	社会福祉費	52,706,000	22,271,519	30,434,481	42.2
		9 人権対策費	12,539,000	3,062,926	9,476,074	24.4
		10 コミュニティセンター運営費	25,219,000	12,875,439	12,343,561	51.0
		11 カルデラASO運営費	13,558,000	5,989,219	7,568,781	44.1
		12 男女共同参画推進費	1,390,000	343,935	1,046,065	24.7

3 主な事業概要

(1) 人権啓発係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
阿蘇市人権同和教育推進協議会	阿蘇市人権・同和教育推進協議会総会(書面決議) 平成31年度決算・事業報告、令和2年度予算・事業計画等を 書面決議。 書面決議数： 173/200 人 未承認 0 人 ・協議会の支出内訳 専門部会費(社会部会620千円・就学前部会620千円・学校 部会620千円・進路保障部会50千円・事務局費575千円)	2,575千円 (市補助金)
阿蘇市人権フェスティバル	阿蘇市人権フェスティバル中止 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) 期日：令和2年11月18日(水) 午前9時開会予定 場所：阿蘇市立阿蘇体育館 ※人権フェスティバル中止のため、関係者に後日、啓発冊子 等を送付した。	2,460円 (講師派遣 旅費キャン セル料)
人権作文集の発刊	人権作文集の発刊 2,700部発刊 学校、行政機関、企業、各種団体等へ配布	1,200千円 市人同協300 教育課500 人権啓発課400
阿蘇市男女共同 参画審議会	・審議会及び研修会の開催(年6回実施予定) 審議会書面決議(5/15㍻) 審議会実施(7/29、10/22、11月下旬、2月上旬) 審議会研修(11/29：くまもと県民交流館パレア動画公開) ・第3次阿蘇市男女共同参画推進計画に則り、市の政策が執り 行われているかを見守る。 ・男女共同参画川柳の募集を行い、10月末までに選定を行 い、その川柳を阿蘇市人権フェスティバル、人同協総会、広 報あそ、人権作文集「かけはし」等に掲載し、男女共同参画 の啓発に努める。	1,120千円
阿蘇市男女共同 参画推進会議	・阿蘇市特定事業主行動計画により、男女共同参画の推進に ついて各課が実行するように各課担当者を中心に努める。 また、年1回は計画の進捗状況や、女性の登用状況等につ いて確認し、公表を行う。	
阿蘇市女性団体連絡 協議会	・災害時の炊き出し、ボランティア活動、環境問題への取り組 みや春、秋の交通安全運動や人権問題に関する研修への取 り組み等。 ・市主催の行事等に積極的に参加するほか、女性団体独自で市 政報告会やセミナーなどを計画し、女性の社会進出に努め ている。	270千円

(2) 阿蘇市コミュニテイセンター

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
コミュニテイセンター運営事業	<p>1 相談事業 地域住民からの生活相談、就労相談、健康相談、教育相談、育児相談、高齢者相談等に対応している。相談事業については、決まった相談日を設けず、いつでも対応できる体制をとっている。また、相談内容により、行政や関係機関に確認や連絡を行う等、速やかな問題解決に努めている。 相談件数、約50件/年(令和元年度は52件)</p> <p>2 講演会等 周辺地域の協力により交流講座開講式、人権子ども会出発式、ヒューマン21文化祭、クリスマス会等を計画実施している。今年度はコロナ禍により開催中止となったが、小中学生による人権太鼓の演奏やYMCA黒川保育園によるお遊戯発表など、地域の協力のもと、地域間・世代間の交流事業を行い、また、「福祉と人権のまちづくり」についての講演会も実施するなどし、現在では地域に定着したイベントとなっている。例年、市内小中高(各学校)の新転任教職員を対象とした同和問題、人権問題の現地研修会を開催している。同学習会には阿蘇市役所の新規採用職員も参加している。また、学校の休み(夏、冬)期間中に、市内各学校の依頼に応じ、教職員を対象とした現地研修会を開催している。 ・新転任者学習会10月9日、10月23日(計2回、参加者54名) ・教職員現地研修会(コロナ禍により現時点では開催未定)</p> <p>3 地域福祉事業 地域の一人暮らし高齢者宅への訪問(見守り)活動や病院及び入所施設への訪問活動行っている。(コロナ禍により現時点では慰問は未定)</p> <p>4 地域交流促進事業 カラオケ、書道、フラダンス、パソコン、生け花の5講座を開催。各講座は月に2日から8日開催し、延べ45名が受講している。各講座間、講座生の交流はもとより、年間行事の中で地域と講座生との交流事業を実施。また、地域交流促進事業の周知も兼ねて、講座生による福祉施設等への慰問活動を実施している。(コロナ禍により慰問は未定)</p> <p>5 施設利用 他団体の会議及び自主講座によるセンター利用状況 9月末現在 8件(利用者数 計253名)</p>	<p>25,081千円</p> <p>上記のうち 補助対象経費 17,867千円の うち 県助成限度額 6,937千円</p> <p>補助率39%</p>

(2) カルデラASO

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
カルデラASO 運営事業	<p>1 相談事業 相談事業（生活・就労・健康・教育・高齢者等）については、随時受けられる体制をとっている。相談者が来館されるケースも増えてきたが、電話、もしくは指導員が実際自宅に伺って相談を受ける場合もあり十分な相談が受けられるようになってきている。また、相談者のプライバシーについても配慮し、相談の内容により所長及び指導員が直接行政や関係機関と相談を行うなど速やかな問題解決に努めている。</p> <p>2 人権子ども会 教育課において、小学生の部（月曜日・木曜日の週2回、16時から18時頃まで）、中高生の部（月曜日・水曜日の週2回、19時から21時頃まで）の2部体制で実施しており、基礎学力の向上及び人権学習を行っている。（小学生の部22回：児童数225名・教職員90名、中高生の部17回：生徒数114名、職員56名） 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開講が遅れ開催日数、延べ参加人数ともに昨年より減少しているが、人権子ども会への受講生は昨年度よりも増加傾向にある。</p> <p>3 各種研修会の実施 予定していた一の宮校区小中学校合同現地学習会は新型コロナウイルス感染症拡大により、開講が延期となっていたが、予定期間中の日程調整がつかず中止となったが、阿蘇市人権教育部会（6/19：11名）の研修や、阿蘇市人権フェスティバルでの出展、人権子ども会での炊き出し等でお世話になる阿蘇市婦人の会（14回：114名）の会合などで活発な館利用が行われている。</p> <p>4 各種講座 各講座においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開講が遅れていたが、着物リメイク講座（12回延べ111名）・パッチワーク講座（15回延べ170名）を実施しており、隣保館利用促進と交流活動の充実を図ることができ、特にパッチワーク講座については、皆さんから利用しやすい施設であると好評を博し利用率向上に寄与している。ただし、例年のことながら懸案事項である受講生の高齢化は否めず、生涯学習の存亡が危惧され壮年層（40代～50代）の講座生の掘り起こしはもとより、新規講座の開設等も視野に入れ、館の利用向上を図っていく。</p>	<p>13,640千円</p> <p>上記のうち 補助対象経費 12,784千円のうち 県助成限度額 6,276千円</p> <p>補助率 49%</p>

4 講評・所感

人権啓発課が所管する住宅新築資金貸付事業についての監査意見は心苦しく、担当職員の苦勞もいかばかりかと慮りである。貸付金の返済については、定期的に返済する方、全く返済されない方、困窮のために返済できない方などと千差万別である。

元々、本事業に関する国の方針が現金渡し切りの紋切り型の事業で、その後は自治体に任せた責任転嫁型の政策となっている。当初から市にしわ寄せがくることは想定されたことであろうが、交付した機関として厳しく対応せざるを得ないものである。

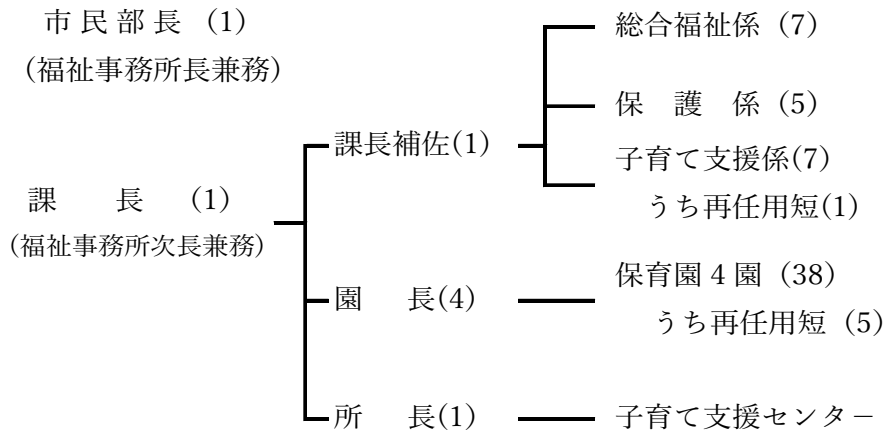
本債権は、昭和56年からの債権もあり、38年を経過している状況も踏まえ、顧問弁護士とも十分に協議され、競売の手続きなど検討する時期にある。また、利用していない家屋については、職権で利活用を検討するなどの余地もあると思われ、更に知恵を絞り、不公平感が生じることのないよう、しっかりとした債権回収に努められたい。

福 祉 課

実施日：令和2年12月22日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在）

*（ ）数字は職員の配置数



2 予算執行状況

令和2年度福祉課の歳入予算現額は2,768,167,000円、9月30日までの収入済額は629,609,177円で、収入率は予算現額に対し22.7%、調定額に対し58.5%となる。また、繰越明許については、歳入予算現額117,872,000円、収入済額は38,384,000円で、収入率は予算現額に対し32.5%、調定額に対し34.6%である。

歳出においては、予算現額4,616,974,000円、執行額2,683,019,679円、予算残額1,933,954,321円で、予算現額に対する執行率は58.1%となる。また、繰越明許については、予算現額117,872,000円、執行額は117,529,000円、予算現額に対する執行率は99.7%である。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
14 分担金及び負担金	245,698,000	73,099,520	24,322,980	48,776,540	9.8	33.2
15 使用料及び手数料	7,214,000	5,468,000	1,743,099	3,724,901	24.1	31.8
16 国庫支出金	1,745,834,000	909,693,374	572,131,457	337,561,917	32.7	62.8
17 県支出金	631,745,000	62,238,058	24,718,058	37,520,000	3.9	39.7
18 財産収入	5,802,000	4,873,812	2,436,906	2,436,906	42.0	50.0
22 諸収入	7,874,000	19,619,622	4,256,677	15,362,945	54.0	21.6
23 市債	124,000,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	2,768,167,000	1,074,992,386	629,609,177	445,383,209	22.7	58.5

(繰越明許)

16 国庫支出金	72,288,000	72,288,000	0	72,288,000	0.0	0.0
21 繰越金	38,384,000	38,384,000	38,384,000	0	100.0	100.0
23 市債	7,200,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	117,872,000	110,672,000	38,384,000	72,288,000	32.5	34.6

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
3	民生費		4,583,904,000	2,654,295,379	1,929,608,621	57.9
	1	社会福祉費	1,480,590,000	681,043,062	799,546,938	45.9
		1 社会福祉総務費	177,134,000	123,442,382	53,691,618	69.6
		3 障害者福祉費	1,053,887,000	442,048,878	611,838,122	41.9
		4 老人福祉費	31,646,000	23,249,790	8,396,210	73.4
		5 老人保護措置費	193,092,000	71,926,130	121,165,870	37.2
		6 介護予防施設管理費	2,548,000	410,078	2,137,922	16.0
		7 一の宮高齢者センター管理費	22,283,000	19,965,804	2,317,196	89.6
	2	児童福祉費	2,631,195,000	1,768,065,843	863,129,157	67.1
		1 児童福祉総務費	803,145,000	355,057,745	448,087,255	44.2
		2 母子福祉費	10,463,000	4,430,917	6,032,083	42.3
		3 児童運営費	1,503,622,000	1,266,259,953	237,362,047	84.2
		4 児童福祉施設費	313,965,000	142,317,228	171,647,772	45.3
	3	生活保護費	459,357,000	205,136,474	254,220,526	44.6
		1 生活保護総務費	56,848,000	27,562,560	29,285,440	48.4
		2 扶助費	402,509,000	177,573,914	224,935,086	44.1
	4	災害救助費	12,762,000	50,000	12,712,000	0.3
		1 災害救助費	12,057,000	50,000	12,007,000	0.4
		2 行旅死亡人取扱費	705,000	0	705,000	0.0
4	衛生費		33,070,000	28,724,300	4,345,700	86.8
	1	保健衛生費	33,070,000	28,724,300	4,345,700	86.8
		9 阿蘇保健福祉センター管理費	33,070,000	28,724,300	4,345,700	86.8
		合 計	4,616,974,000	2,683,019,679	1,933,954,321	58.1

(繰越明許)

3	民生費		117,872,000	117,529,000	343,000	99.7
	2	児童福祉費	117,872,000	117,529,000	343,000	99.7
		1 児童福祉総務費	1,840,000	1,760,000	80,000	95.6
		4 児童福祉施設費	116,032,000	115,769,000	263,000	99.7

3 講評・所感

少子高齢化の波は阿蘇市にも確実に及んでいる。老人クラブ連合会活動促進助成事業、敬老会助成事業、養護老人ホーム入所措置などを見て、高齢化といえども、当事者は健康でなければ誠に辛いものであらうと感じている。88歳到達者（米寿）は273名（男92名、女181名）、90歳到達者（卒寿）で215名（男74名、女141名）、101歳以上（百一祝い）で33名（男2名、女31名）となっている。

これからは、生活の質を重視し、長くなった寿命を「心身に障害のない期間」として、健康で自立して暮らすことできる「健康な長寿」を実現することが、高齢者と社会にとって真に豊かな長寿社会の達成のために重要になるとわれ、今後ともほけん課ともに、しっかりと連携した事業の推進に努められたい。

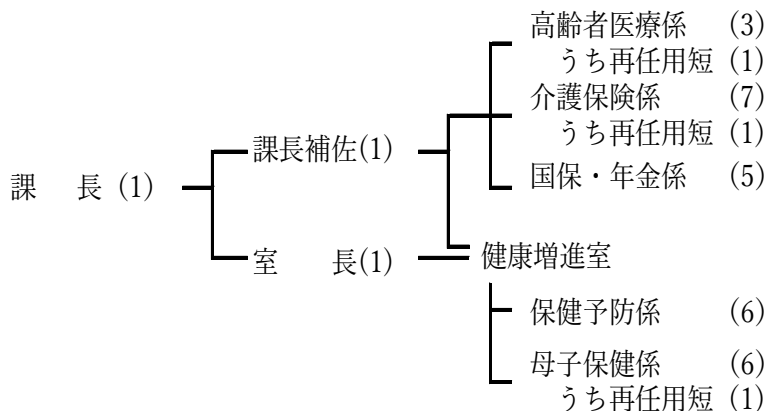
私を含めた高齢者の皆様の常日頃のご健康をひたすらに願うばかりである。

ほけん課

実施日：令和2年11月4日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在）

*（ ）数字は職員の配置数



2 予算執行状況

令和2年度ほけん課の歳入予算現額は 320,440,000 円で、9月30日までの収入済額は 28,184,851 円となり、収入率は予算現額に対し 8.7%、調定額に対し 36.5%である。

歳出においては、予算現額 1,847,126,000 円で、執行額 586,275,524 円、予算残額 1,260,850,476 円、予算現額に対する執行率は 31.7%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
14 分担金及び負担金	5,909,000	78,510	51,310	27,200	0.8	65.3
16 国庫支出金	32,062,000	24,115,000	16,166,000	7,949,000	50.4	67.0
17 県支出金	236,666,000	7,121,000	7,121,000	0	3.0	100.0
20 繰入金	45,788,000	45,788,228	4,846,541	40,941,687	10.5	10.5
22 諸収入	15,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	320,440,000	77,102,738	28,184,851	48,917,887	8.7	36.5

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
3	民生費		1,516,072,000	489,676,766	1,026,395,234	32.2
	1	社会福祉費	1,516,072,000	489,676,766	1,026,395,234	32.2
		1 社会福祉総務費	296,652,000	0	296,652,000	0.0
		2 国民年金事務費	8,348,000	3,132,489	5,215,511	37.5
		4 老人福祉費	576,932,000	3,115,000	573,817,000	0.5
		8 後期高齢者医療費	634,140,000	483,429,277	150,710,723	76.2
4	衛生費		331,054,000	96,598,758	234,455,242	29.1
	1	保健衛生費	331,054,000	96,598,758	234,455,242	29.1
		1 保健衛生総務費	107,892,000	45,168,197	62,723,803	41.8
		2 予防費	133,423,000	35,558,825	97,864,175	26.6
		3 健康増進費	49,008,000	1,146,864	47,861,136	2.3
		4 母子保健費	32,546,000	9,003,791	23,542,209	27.6
		8 保健対策推進費	5,385,000	4,065,800	1,319,200	75.5
		9 一の宮保健センター管理費	2,800,000	1,655,281	1,144,719	59.1
		合 計	1,847,126,000	586,275,524	1,260,850,476	31.7

3 主な事業概要

(1) 保健予防係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
健康ポイント事業 「あるきだす2020」	<p>市民の運動習慣の定着化を図り、生活習慣病と重症化の予防に努める。</p> <p>①実施内容</p> <p>くまもとスマートライフアプリ又は万歩計を使用し歩数管理を行う。対象は20歳以上の阿蘇市民及び阿蘇市内が在勤地である方。(令和2年6月から11月末まで受付)令和3年2月末に集計及びアンケート調査を行い、報償として3月に抽選し、当選者に商品を送る。</p> <p>9月までの参加人数 260名(アプリ使用199名、万歩計等61名)</p>	1,540千円

4 講評・所感

阿蘇市の高齢化率は同規模の市町村と比較すると高いほうにある。このことは健康であるという高齢者の方が多いということでもある。

今回の監査で最も身につまされたのは高額医療費である。該当する方々の状況は高血圧などの基礎疾患から、脳、心、腎などの臓器障害へと移行した場合に多く見られ、特にメタボリックシンドロームに起因する糖尿病が多いとのことであった。

今後とも阿蘇市民の方々が健康を維持し、それが医療費の削減圧縮になるよう、今後ともしっかりと業務に勤しんでいただきたい。

県内 45 市町村別 1 人当たり診療費（阿蘇市の順位）

高血圧（3 位）

糖尿病（4 位）

分泌、栄養及び代謝（4 位）

【国民健康保険事業特別会計】

1 予算の執行状況

令和2年度国民健康保険事業特別会計の歳入予算現額は3,546,228,000円、9月30日までの収入済額1,665,961,087円で、収入率は予算現額に対し46.9%、調定額に対し51.5%である。

歳出においては、予算現額3,546,228,000円、執行額2,131,521,233円、予算残額1,414,706,767円で、予算現額に対する執行率は60.1%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
(税務課)						
1 国民健康保険税	726,340,000	955,287,198	343,435,174	611,852,024	47.2	35.9
4 使用料及び手数料	500,000	0	194,900	△194,900	38.9	0.0
12 諸収入	3,501,000	0	2,558,497	△2,558,497	73.0	0.0
合計	730,341,000	955,287,198	346,188,571	609,098,627	47.4	36.2
(ほけん課)						
2 一部負担金	2,000	0	0	0	0.0	0.0
5 国庫支出金	4,116,000	0	0	0	0.0	0.0
6 県支出金	2,358,968,000	2,107,699,000	1,149,654,000	958,045,000	48.7	54.5
8 財産収入	12,000	12,691	0	12,691	0.0	0.0
10 繰入金	296,652,000	0	0	0	0.0	0.0
11 繰越金	155,025,000	155,025,744	155,025,744	0	100.0	100.0
12 諸収入	1,112,000	15,170,963	15,092,772	78,191	1,357.2	99.4
合計	2,815,887,000	2,277,908,398	1,319,772,516	958,135,882	46.8	57.9
総合計	3,546,228,000	3,233,195,596	1,665,961,087	1,567,234,509	46.9	51.5

国民健康保険税徴収状況調

(単位：円：%)

国民健康保険税	調定額	収納額	過誤納額	収入未済額	収納率
現年課税分	723,762,400	318,229,345	2,814,400	408,347,455	43.9
滞納繰越分	224,085,098	25,205,829	73,100	198,952,369	11.2
計	947,847,498	343,435,174	2,887,500	607,299,824	36.2

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
(税務課)					
9	諸支出金	5,720,000	1,241,400	4,478,600	21.7
(ほけん課)					
1	総務費	75,392,000	39,496,842	35,895,158	52.3
	1 総務管理費	72,785,000	37,857,427	34,927,573	52.0
	2 徴税费	2,312,000	1,639,415	672,585	70.9
	3 運営協議会費	295,000	0	295,000	0.0
2	保険給付費	2,314,794,000	995,113,309	1,319,680,691	42.9
	1 療養諸費	1,954,409,000	836,750,363	1,117,658,637	42.8
	2 高額療養費	345,867,000	155,358,928	190,508,072	44.9
	3 移送費	2,000	0	2,000	0.0
	4 出産育児諸費	11,766,000	2,404,018	9,361,982	20.4
	5 葬祭諸費	1,000,000	600,000	400,000	60.0
	7 傷病手当金	1,750,000	0	1,750,000	0.0
3	国民健康保険事業費納付金	1,009,903,000	1,009,900,768	2,232	99.9
	1 医療給付費分	746,551,000	746,550,213	787	99.9
	2 後期高齢者支援金等分	198,292,000	198,291,294	706	99.9
	3 介護納付金分	65,060,000	65,059,261	739	99.9
4	共同事業拠出金	1,000	0	1,000	0.0
	1 共同事業拠出金	1,000	0	1,000	0.0
6	保健事業費	39,813,000	7,758,041	32,054,959	19.4
	1 特定健康診査等事業費	28,261,000	4,575,065	23,685,935	16.1
	2 保健事業費	11,552,000	3,182,976	8,369,024	27.5
7	基金積立金	75,012,691	75,012,691	0	100.0
	1 基金積立金	75,012,691	75,012,691	0	100.0
9	諸支出金	18,460,000	2,998,182	15,461,818	16.2
	1 償還金及び還付加算金	1,000	0	1,000	0.0
	2 繰出金	18,459,000	2,998,182	15,460,818	16.2
11	予備費	7,132,309	0	7,132,309	0.0
	1 予備費	7,132,309	0	7,132,309	0.0
	合計	3,540,508,000	2,130,279,833	1,410,228,167	60.1
	総合計	3,546,228,000	2,131,521,233	1,414,706,767	60.1

【後期高齢者医療事業特別会計】

1 予算の執行状況

令和2年度後期高齢者医療事業特別会計の歳入予算現額は466,791,000円、9月30日までの収入済額133,371,101円で、収入率は予算現額に対し28.5%、調定額に対し44.5%である。

歳出においては、予算現額466,791,000円、執行額108,644,502円、予算残額358,146,498円で、予算現額に対する執行率は23.2%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
1 後期高齢者医療保険料	288,145,000	288,824,300	123,403,400	165,420,900	42.8	42.7
2 使用料及び手数料	50,000	50,000	22,600	27,400	45.2	45.2
4 繰入金	150,710,000	0	0	0	0.0	0.0
5 繰越金	8,634,000	8,634,259	8,634,259	0	100.0	100.0
6 諸収入	19,252,000	1,730,013	1,310,842	419,171	6.8	75.7
合計	466,791,000	299,238,572	133,371,101	165,867,471	28.5	44.5

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
1	総務費	35,155,000	16,805,767	18,349,233	47.8
	1 総務管理費	34,332,000	16,440,437	17,891,563	47.8
	2 徴収費	823,000	365,330	457,670	44.3
2	後期高齢者医療広域連合納付金	416,892,000	87,986,200	328,905,800	21.1
	1 後期高齢者医療広域連合納付金	416,892,000	87,986,200	328,905,800	21.1
3	保健事業費	12,326,000	1,632,076	10,693,924	13.2
	1 健康保持増進事業費	12,326,000	1,632,076	10,693,924	13.2
4	諸支出金	2,369,000	2,220,459	148,541	93.7
	1 償還金及び還付加算金	520,000	372,100	147,900	71.5
	2 繰出金	1,849,000	1,848,359	641	99.9
5	予備費	49,000	0	49,000	0.0
	1 予備費	49,000	0	49,000	0.0
	合計	466,791,000	108,644,502	358,146,498	23.2

【介護保険事業特別会計】

1 予算の執行状況

令和2年度介護保険事業特別会計の歳入予算現額は3,681,556,000円、9月30日までの収入済額1,618,434,526円で、収入率は予算現額に対し43.9%、調定額に対し56.6%である。

歳出においては、予算現額3,681,556,000円、執行額1,465,811,909円、予算残額2,215,744,091円で、予算現額に対する執行率は39.8%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
1 保険料	598,252,000	653,299,243	306,136,934	347,162,309	51.1	46.8
2 分担金及び負担金	1,245,000	1,245,000	356,895	888,105	28.6	28.6
3 使用料及び手数料	120,000	120,000	39,600	80,400	33.0	33.0
4 国庫支出金	892,973,000	546,666,370	456,702,000	89,964,370	51.1	83.5
5 支払基金交付金	883,583,000	941,176,000	392,159,000	549,017,000	44.3	41.6
6 県支出金	479,843,000	457,257,875	207,840,000	249,417,875	43.3	45.4
7 財産収入	120,000	56,235	47,634	8,601	39.6	84.7
8 繰入金	570,191,000	0	0	0	0.0	0.0
9 繰越金	255,123,000	255,123,623	255,123,623	0	100.0	100.0
10 諸収入	106,000	131,280	28,840	102,440	27.2	21.9
合計	3,681,556,000	2,855,075,626	1,618,434,526	1,236,641,100	43.9	56.6

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
1	総務費	97,118,000	53,826,167	43,291,833	55.4
	1 総務管理費	52,792,000	26,148,139	26,643,861	49.5
	2 徴収費	1,743,000	1,219,366	523,634	69.9
	3 介護認定審査会費	35,498,000	20,486,162	15,011,838	57.7
	4 計画推進委員会費	3,518,000	2,605,500	912,500	74.0
	5 サービス事業費	3,567,000	3,367,000	200,000	94.3
2	保険給付費	3,198,169,000	1,231,413,783	1,966,755,217	38.5
	1 介護サービス等諸費	2,860,691,000	1,110,780,203	1,749,910,797	38.8
	2 介護予防サービス等諸費	110,913,000	37,469,262	73,443,738	33.7
	3 その他諸費	3,565,000	1,275,123	2,289,877	35.7
	4 高額介護サービス等費	66,000,000	30,345,603	35,654,397	45.9
	5 高額医療合算介護サービス等費	12,000,000	3,183,518	8,816,482	26.5
	6 特定施設入所者介護サービス等費	145,000,000	48,360,074	96,639,926	33.3
4	基金積立金	65,000,000	56,235	64,943,765	0.0
	1 基金積立金	65,000,000	56,235	64,943,765	0.0
5	地域支援事業費	152,726,000	131,557,626	21,168,374	86.1
	1 介護予防・生活支援サービス事業費	46,096,000	30,910,841	15,185,159	67.0
	2 一般介護予防事業費	28,003,000	27,303,000	700,000	97.5
	3 包括的支援事業・任意事業費	78,370,000	73,286,037	5,083,963	93.5
	4 その他諸費	257,000	57,748	199,252	22.4
7	諸支出金	135,269,000	48,958,098	86,310,902	36.1
	1 償還金及び還付加算金	94,327,000	8,016,411	86,310,589	8.4
	3 繰出金	40,942,000	40,941,687	313	99.9
8	予備費	33,274,000	0	33,274,000	0.0
	1 予備費	33,274,000	0	33,274,000	0.0
	合計	3,681,556,000	1,465,811,909	2,215,744,091	39.8

【 経 済 部 】

農 政 課

実施日：令和2年11月18日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在）

*（ ）数字は職員の配置数

経済部長（1）	}	農業振興係（6）
課長（1） — 課長補佐（1）		畜産林業係（4）
		農村整備係（4）

2 予算執行状況

令和2年度農政課の歳入予算現額は1,513,059,000円、9月30日までの収入済額は161,658,605円で、収入率は予算現額に対し10.6%、調定額に対し83.6%である。また、繰越明許については、歳入予算現額90,451,000円、収入済額は3,439,000円で、収入率は予算現額に対し3.8%、調定額に対し100%である。

歳出においては、予算現額2,129,891,000円、執行額1,058,688,830円、予算残額1,071,202,170円で、予算現額に対する執行率は49.7%である。また、繰越明許については、予算現額90,451,000円、執行額は87,689,214円で、予算現額に対する執行率は96.9%である。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
2 地方譲与税	36,695,000	37,134,000	18,567,000	18,567,000	50.5	50.0
14 分担金及び負担金	9,808,000	8,098,368	0	8,098,368	0.0	0.0
15 使用料及び手数料	667,000	27,992	27,782	210	4.1	99.2
16 国庫支出金	20,950,000	0	0	0	0.0	0.0
17 県支出金	1,011,499,000	146,165,903	141,322,903	4,843,000	13.9	96.6
18 財産収入	0	796	796	0	0.0	100.0
22 諸収入	3,740,000	1,740,124	1,740,124	0	46.5	100.0
23 市債	429,700,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	1,513,059,000	193,167,183	161,658,605	31,508,578	10.6	83.6

(繰越明許)

17 県支出金	63,112,000	0	0	0	0.0	0.0
21 繰越金	3,439,000	3,439,000	3,439,000	0	100.0	100.0
23 市債	23,900,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	90,451,000	3,439,000	3,439,000	0	3.8	100.0

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
5		農林水産業費	2,070,991,000	1,049,073,527	1,021,917,473	50.6
	1	農業費	1,961,576,000	1,024,027,386	937,548,614	52.2
		2 農業総務費	144,597,000	69,647,632	74,949,368	48.1
		3 農業振興費	195,964,000	62,003,908	133,960,092	31.6
		4 畜産振興費	24,978,000	7,773,150	17,204,850	31.1
		5 農地費	1,017,943,000	864,875,494	153,067,506	84.9
		6 農業振興地域整備事業費	530,000	136,800	393,200	25.8
		10 農村環境改善センター管理費	6,501,000	6,501,000	0	100.0
		12 水田農業経営確立対策事業費	16,203,000	12,960,444	3,242,556	79.9
		13 畜産振興総合対策事業費	303,689,000	0	303,689,000	0.0
		14 中山間地域等直接支払事業費	251,024,000	128,958	250,895,042	0.0
		15 中山間総合整備事業費	147,000	0	147,000	0.0
	2	林業費	109,415,000	25,046,141	84,368,859	22.8
		2 林業振興費	76,950,000	19,332,985	57,617,015	25.1
		3 林道事業費	32,465,000	5,713,156	26,751,844	17.5
10		災害復旧費	58,900,000	9,615,303	49,284,697	16.3
	2	農林水産業施設災害復旧費	58,900,000	9,615,303	49,284,697	16.3
		2 農業用施設災害復旧費	44,700,000	7,308,768	37,391,232	16.3
		3 林業施設災害復旧費	14,200,000	2,306,535	11,893,465	16.2
		合計	2,129,891,000	1,058,688,830	1,071,202,170	49.7

(繰越明許)

5		農林水産業費	90,451,000	87,689,214	2,761,786	96.9
	1	農業費	90,451,000	87,689,214	2,761,786	96.9
		3 農業振興費	291,000	0	291,000	0.0
		5 農地費	25,000,000	22,550,000	2,450,000	90.2
		13 畜産振興総合対策事業費	65,160,000	65,139,214	20,786	99.9

3 講評・所感

大蘇ダムについて

昨年4月に供用開始した国営大蘇ダムで、再び想定を上回る水漏れが判明した。受益農家は浸透抑制対策を終え、このような状態であることを受け、来期への影響に深く心配されている方々への苦悩はいかばかりかと慮りである。自然を相手に人工的な施設を造るということは、施政者、施工者の人格を含め厳かな中で、齋行、身を慎んで執り行う必要があると思われる。

今後、浸透抑制対策工事などが必要となった際は、国の責任において取り組むとともに阿蘇市にその費用負担を求めないよう要望し、また、農家が安心して営農ができるよう強く願うものである。

阿蘇望橋の管理について

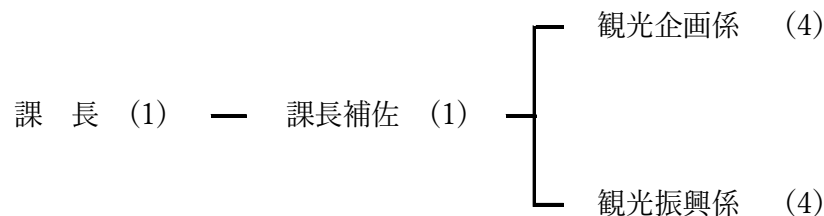
旧波野村時代に観光の目玉として建築された阿蘇望橋（通称マディソン郡の橋）もロマンティックなイメージとは異なり、現実的には補修工事の連続となっている。阿蘇望橋の管理については、本施設を熟知していることもあり、これまで同じ業者との契約締結がなされている。今後は単独随意契約とし、予算状況なども踏まえ先方と協議を行うことで、より安価に委託できるのではないかと検討されたい。

観光課

実施日：令和2年11月25日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在）

*（ ）数字は職員の配置数



2 予算執行状況

令和2年度観光課の歳入予算現額は29,872,000円、9月30日までの収入済額は5,883,882円で、収入率は予算現額に対し19.6%、調定額に対し50.8%である。また、繰越明許については、歳入予算現額73,000,000円、収入済額は38,000,000円で、収入率は予算現額、調定額ともに52.0%である。

事故繰越については、歳入予算現額56,246,255円、収入済額は55,550,255円で、収入率は予算現額、調定額ともに98.7%である。

歳出においては、予算現額411,602,000円、執行額236,745,075円、予算残額174,856,925円で、予算現額に対する執行率は57.5%である。また、繰越明許については、予算現額73,000,000円、執行額は2,999,975円で、予算現額に対する執行率は4.1%である。

事故繰越については、予算現額56,246,255円、執行額は40,862,255円で、予算現額に対する執行率は72.6%である。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
15 使用料及び手数料	6,057,000	768,100	768,100	0	12.6	100.0
16 国庫支出金	6,430,000	986,000	0	986,000	0.0	0.0
17 県支出金	8,350,000	0	0	0	0.0	0.0
18 財産収入	8,461,000	5,017,000	311,782	4,705,218	3.6	6.2
22 諸収入	574,000	4,804,000	4,804,000	0	836.9	100.0
合 計	29,872,000	11,575,100	5,883,882	5,691,218	19.6	50.8

(繰越明許)

16 国庫支出金	35,000,000	35,000,000	0	35,000,000	0.0	0.0
21 繰越金	38,000,000	38,000,000	38,000,000	0	100.0	100.0
合 計	73,000,000	73,000,000	38,000,000	35,000,000	52.0	52.0

(事故繰越)

16 国庫支出金	696,000	696,000	0	696,000	0.0	0.0
21 繰越金	55,550,255	55,550,255	55,550,255	0	100.0	100.0
合 計	56,246,255	56,246,255	55,550,255	696,000	98.7	98.7

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
6	商工費		411,602,000	236,745,075	174,856,925	57.5
	1	商工費	411,602,000	236,745,075	174,856,925	57.5
		1 商工総務費	149,740,000	72,481,999	77,258,001	48.4
		3 観光振興費	200,452,000	113,126,421	87,325,579	56.4
		4 施設管理費	61,410,000	51,136,655	10,273,345	83.2

(繰越明許)

6	商工費		73,000,000	2,999,975	70,000,025	4.1
	1	商工費	73,000,000	2,999,975	70,000,025	4.1
		3 観光振興費	3,000,000	2,999,975	25	99.9
		4 施設管理費	70,000,000	0	70,000,000	0.0

(事故繰越)

6	商工費		56,246,255	40,862,255	15,384,000	72.6
	1	商工費	56,246,255	40,862,255	15,384,000	72.6
		4 施設管理費	56,246,255	40,862,255	15,384,000	72.6

3 主な事業概要

(1) 観光振興係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
阿蘇サイクルツーリズム学校プロジェクト	<p>地方創生推進交付金や民間の補助金、市単独の補助金等を活用してサイクルツーリズムを阿蘇地域で推進する。阿蘇における自転車文化を根付かせ、自転車に興味関心を持ってもらうことを目的にサイクルイベントの開催や自転車公園でのマウンテンバイク教室を実施。サイクルツーリズムを手段とした地域づくりを持続可能な取り組みとするために、地域にお金が落ちる仕組み、地域の人々が関わる仕組みを構築する。</p> <p>また、牧野組合と連携し、阿蘇ならではの草原を活用したアクティビティ（草原ライド）の普及や定着を図るためのプロモーション活動を実施するとともにサイクルイベント等のプランニング等を行うための人材育成を実施する。</p> <p>そのほか増加する訪日外国人旅行者を取り込むため、アジアで最もサイクリング文化が浸透している台湾を中心にプロモーション活動を進める予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、本年度は断念した。</p>	10,500千円 補助率 50%
阿蘇・竹田ブランド観光地域づくり推進協議会	<p>地方創生交付金を活用し、阿蘇市、竹田市、J R九州の三者を中心とした官民協働により、J R豊肥本線復旧後を見据えた仕組みづくりを構築し、九州中央におけるDestinyの確立を3箇年計画で推進する。</p> <p>本年度は2箇年目であり、阿蘇竹田ブランドの観光地域づくりネットワーク構築づくりを引き続き推進し、阿蘇竹田のブランドイメージの創出やPR活動、欧米豪をターゲットとしたツーリズム商品の開発等を進める。</p>	12,000千円 補助率 50%

(2) 観光企画係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
阿蘇市「草・観・然」活性化事業	<p>鉱泉源の保護、観光振興といった用途を特定して徴収される目的税「入湯税」を原資に、本市が誇る貴重な観光資源である鉱泉源の保護、並びに豊かな地域資源を活かした様々な観光まちづくり政策を推進していくことで、魅力ある観光地を創造することを目的と事業を進める。特に今年度は交通インフラ開通やコロナウイルスによる経済対策を踏まえ、臨機応変な取り組みも必要と感じている。</p> <p>①阿蘇温泉観光旅館協同組合への補助事業、②乙姫ペンション村温泉組合への補助事業、③復興支援ツアーガイド委託事業、④然事業</p>	20,400千円 財源 入湯税

4 講評・所感

牧野組合について

阿蘇市は観光と農業を軸とする立地の上に鎮座する行政市である。とりわけ世界に名だたる阿蘇の五岳を抱き、観光の面では名実ともに大黒柱となる財産である。ゆえに景観を順守する手当は牧野組合の責務といっても過言ではない。

しかしながら旧町村時代から今日まで大きな原野補償料の名目で助成、補助してきた経緯は時代の流れとともに移り変わるものである。牛馬の歴史のみでも昔からすると大きく様変わりした極、やはり時代の重みを受け入れ、ややもすると既得権益を固持する流れに禊を打ち込む勇氣も必要であると思慮するものである。

- 草千里自体は永水地区と黒川地区の入会地、黒川地区は放牧のための事業として、その草千里を利用している。補償料の主旨は原野の改良や維持管理に充当するための助成である。ゆえに永水地区への草千里原野補償料 7,401,000 円は黒川地区も分けて支払うべきで、つまり永水地区が黒川地区へ放牧のために貸し付けたのが本筋で、対価は黒川地区が負担するものと解されるのではと思われる。

【阿蘇山観光事業特別会計】

1 予算の執行状況

令和2年度阿蘇山観光事業特別会計の歳入予算現額は 90,000,000 円で、9月30日までの収入済額 4,113,500 円となり、収入率は予算現額に対し 4.5%、調定額に対し 4.9%である。

歳出においては、予算現額 90,000,000 円、執行額 57,530,062 円、予算残額 32,469,938 円、予算現額に対する執行率は 63.9%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
1 使用料及び手数料	89,999,000	83,597,000	4,113,500	79,483,500	4.5	4.9
5 諸収入	1,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	90,000,000	83,597,000	4,113,500	79,483,500	4.5	4.9

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

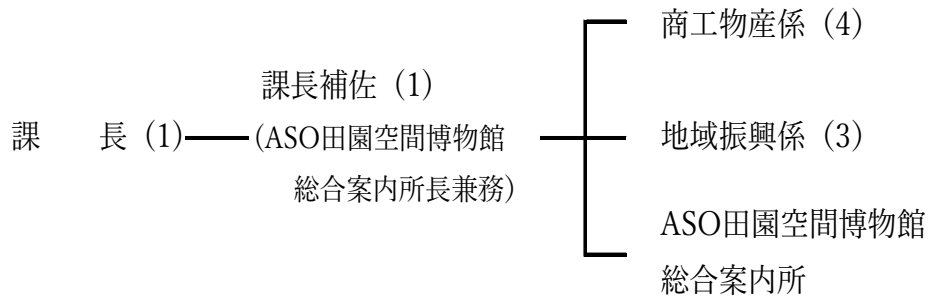
款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
1		観光施設費	74,918,410	49,530,062	25,388,348	66.1
	1	公園道路費	74,918,410	49,530,062	25,388,348	66.1
		1 公園道路管理費	74,918,410	49,530,062	25,388,348	66.1
2		観光振興費	13,400,000	8,000,000	5,400,000	59.7
	1	観光振興費	13,400,000	8,000,000	5,400,000	59.7
		1 観光振興費	13,400,000	8,000,000	5,400,000	59.7
3		予備費	1,681,590	0	1,681,590	0.0
	1	予備費	1,681,590	0	1,681,590	0.0
		1 予備費	1,681,590	0	1,681,590	0.0
		合 計	90,000,000	57,530,062	32,469,938	63.9

まちづくり課

実施日：令和2年11月19日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在）

*（ ）数字は職員の配置数



2 予算執行状況

令和2年度まちづくり課の歳入予算現額は398,693,000円、9月30日までの収入済額は53,713,839円で、収入率は予算現額に対し13.4%、調定額に対し19.5%である。また、繰越明許については、歳入予算現額81,052,000円、収入済額は同額となり、収入率は予算現額、調定額ともに100%である。

歳出においては、予算現額691,702,000円、執行額261,481,141円、予算残額430,220,859円で、予算現額に対する執行率は37.8%となる。また、繰越明許については、予算現額は81,052,000円、執行額は77,524,369円で、予算現額に対する執行率は95.6%である。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
15 使用料及び手数料	21,894,000	20,489,049	3,426,623	17,062,426	15.6	16.7
17 県支出金	70,309,000	0	0	0	0.0	0.0
18 財産収入	432,000	397,251	166,641	230,610	38.5	41.9
19 寄附金	250,000,000	250,000,000	46,477,315	203,522,685	18.5	18.5
20 繰入金	3,500,000	0	0	0	0.0	0.0
22 諸収入	52,558,000	4,172,702	3,643,260	529,442	6.9	87.3
合計	398,693,000	275,059,002	53,713,839	221,345,163	13.4	19.5

(繰越明許)

21 繰越金	81,052,000	81,052,000	81,052,000	0	100.0	100.0
--------	------------	------------	------------	---	-------	-------

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
6	商工費		691,702,000	261,481,141	430,220,859	37.8
	1	商工費	691,702,000	261,481,141	430,220,859	37.8
		2 商工振興費	361,644,000	167,402,670	194,241,330	46.2
		5 夢の湯管理費	32,450,000	23,761,661	8,688,339	73.2
		6 田園空間博物館費	2,927,000	4,856	2,922,144	0.1
		7 特産物推進費	33,730,000	10,022,002	23,707,998	29.7
		8 まちづくり推進費	36,438,000	11,621,087	24,816,913	31.8
		9 地域振興対策費	78,479,000	19,272,927	59,206,073	24.5
		10中央公園及びあそ☆ビバ管理運営費	14,080,000	11,143,000	2,937,000	79.1
		11草原情報館管理費	4,210,000	3,532,147	677,853	83.8
		12ふるさと納税費	127,744,000	14,720,791	113,023,209	11.5

(繰越明許)

6	商工費		81,052,000	77,524,369	3,527,631	95.6
	1	商工費	81,052,000	77,524,369	3,527,631	95.6
		5 夢の湯管理費	81,052,000	77,524,369	3,527,631	95.6

3 主な事業概要

(1) 商工物産係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
阿蘇市新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業継続支援金	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に起因して業績が悪化、又は経営に支障をきたしている市内の事業所で、今後も市内において事業継続意思のある事業者に対し交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業継続支援金 1事業所当たり13万円を補助 634件 82,420,000円 (事業完了) 事業継続支援金 (家賃補助) 5月分の家賃で5万円を上限として1/2を補助 93件 2,280,000円 (事業完了) 	84,700千円 補助率 100%
阿蘇市ふるさと応援寄附事業	<p>阿蘇の魅力情報を発信するとともに地域特産品の販売促進や消費拡大等地域経済の活性化を図ることを目的とした「阿蘇市ふるさと応援寄附事業」を行っている。</p> <p>9月末までの実績 4,530件、5,598万円</p>	収入予算額 250,000千円

(2) 地域振興係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
夢の湯管理運営に関すること	・管理運営等に係る業務を一部委託	32,450千円
	・老朽化や施設不具合による施設改修工事 ・施設改修工事、監理業務、建築完了検査手数料 (令和元年繰越)	810,520千円
阿蘇神社周辺整備事業に関すること	・阿蘇神社周辺整備実施設計業務 ・インフォメーションセンター内展示物制作業務委託 ・阿蘇神社駐車場整備工事、中央駐車場整備工事、トイレ等解体撤去工事、新インフォメーションセンター改修工事、インフォメーションセンター解体撤去工事	66,077千円 補助率 100%

3 講評・所感

事業継続支援金 634 件、事業継続支援金（家賃補助） 93 件全てを確認した。書類には不備は多く見られたが、担当課は事業主の方々に一刻も早く給付するための当然の義務でもあり、ご苦勞に水をかける意見だけは避け、ある程度は理解したいと感じているが、これらが事例となることも考えると、後々の交付申請などに大きく影響することもあり、一定の基準を持ち慎重な対応を願う。

一方、全国において持続化給付金申請に関し、詐欺まがいの行為で刑事告訴された輩が新聞紙上を賑わせている。誰もが申請できることを盾に法人はともかく個人事業において多くの不法行為が行われたことは誠に残念である。このような人間失格者たちが人生を謳歌する現実を見るにつけ、先の大戦において国家のために命を賭した先人たちは、これをどのように思うだろうか。

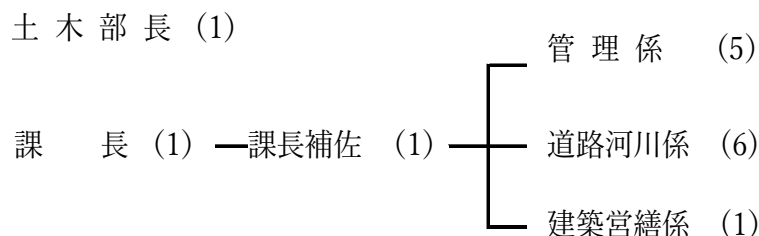
【土木部】

建設課

実施日：令和2年10月29日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在）

*（ ）数字は職員の配置数



2 予算執行状況

令和2年度建設課の歳入予算現額は533,298,000円、9月30日までの収入済額は18,023,115円で、収入率は予算現額に対し3.3%、調定額に対し20.0%である。また、繰越明許については、歳入予算現額313,422,202円、収入済額は58,461,202円で、収入率は予算現額に対し18.6%、調定額に対し71.4%である。

事故繰越については、歳入予算現額78,390,231円、収入未済額3,020,231円で、収入率は予算現額に対し3.8%、調定額に対し100%である。

歳出においては、予算現額870,888,000円、執行額280,179,619円、予算残額590,708,381円で、予算現額に対する執行率は32.1%である。また、繰越明許については、予算現額313,422,202円、執行額は269,590,147円で、予算現額に対する執行率は86.0%である。

事故繰越については、予算現額78,390,231円、執行額は同額となり予算現額に対する執行率は100%である。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
15 使用料及び手数料	7,975,000	8,446,884	8,196,804	250,080	102.7	97.0
16 国庫支出金	269,842,000	71,724,000	0	71,724,000	0.0	0.0
17 県支出金	14,150,000	0	0	0	0.0	0.0
18 財産収入	9,131,000	9,826,311	9,826,311	0	107.6	100.0
23 市債	232,200,000	0	0	0	0.0	0.0
合 計	533,298,000	89,997,195	18,023,115	71,974,080	3.3	20.0

(繰越明許)

16 国庫支出金	112,980,000	23,409,000	0	23,409,000	0.0	0.0
17 県支出金	37,281,000	0	0	0	0.0	0.0
21 繰越金	58,461,202	58,461,202	58,461,202	0	100.0	100.0
23 市債	104,700,000	0	0	0	0.0	0.0
合 計	313,422,202	81,870,202	58,461,202	23,409,000	18.6	71.4

(事故繰越)

16 国庫支出金	19,470,000	0	0	0	0.0	0.0
21 繰越金	3,020,231	3,020,231	3,020,231	0	100.0	100.0
23 市債	55,900,000	0	0	0	0.0	0.0
合 計	78,390,231	3,020,231	3,020,231	0	3.8	100.0

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
7	土木費		536,388,000	264,444,052	271,943,948	49.3
	1	土木管理費	72,003,000	37,021,273	34,981,727	51.4
		1 土木総務費	72,003,000	37,021,273	34,981,727	51.4
	2	道路橋梁費	408,035,000	185,284,079	222,750,921	45.4
		1 道路維持費	170,428,000	95,061,291	75,366,709	55.7
		2 道路新設改良費	153,486,000	67,301,788	86,184,212	43.8
		3 橋梁費	79,102,000	18,139,000	60,963,000	22.9
		4 水力発電施設周辺地域整備費	5,019,000	4,782,000	237,000	95.2
	3	河川費	56,350,000	42,138,700	14,211,300	74.7
		1 河川事業費	56,350,000	42,138,700	14,211,300	74.7
10	災害復旧費		334,500,000	15,735,567	318,764,433	4.7
	3	公共土木施設災害復旧費	334,500,000	15,735,567	318,764,433	4.7
		1 河川等災害復旧費	334,500,000	15,735,567	318,764,433	4.7
		合計	870,888,000	280,179,619	590,708,381	32.1

(繰越明許)

7	土木費		221,723,444	205,045,066	16,678,378	92.4
	2	道路橋梁費	213,136,825	199,845,366	13,291,459	93.7
		1 道路維持費	135,060,887	132,839,908	2,220,979	98.3
		2 道路新設改良費	7,960,000	4,719,000	3,241,000	59.2
		3 橋梁費	70,115,938	62,286,458	7,829,480	88.8
	3	河川費	8,586,619	5,199,700	3,386,919	60.5
		1 河川事業費	8,586,619	5,199,700	3,386,919	60.5
10	災害復旧費		91,698,758	64,545,081	27,153,677	70.3
	3	公共土木施設災害復旧費	91,698,758	64,545,081	27,153,677	70.3
		1 河川等災害復旧費	91,698,758	64,545,081	27,153,677	70.3
		合計	313,422,202	269,590,147	43,832,055	86.0

(事故繰越)

7	土木費		78,390,231	78,390,231	0	100.0
	2	道路橋梁費	39,183,029	39,183,029	0	100.0
		2 道路新設改良費	39,183,029	39,183,029	0	100.0
	3	河川費	39,207,202	39,207,202	0	100.0
		1 河川事業費	39,207,202	39,207,202	0	100.0

3 講評・所感

行政財産の取得

道路を新設、拡張する際に、個人から土地を無償で寄附していただくことがある。通常、抵当権などの設定がなされない土地の寄附が条件になると思うが、旧町村時代の案件で、抵当権が設定されたまま、宅地、田の分筆譲渡がなされていた。寄附を受けた当時の状況もある一方で登記制度の矛盾も強く感じられる。

抵当権の設定とは、お金を貸し付けた債権者が、返済できなくなった場合の担保として、

不動産に権利を設定することであるが、債権の時効期間は、原則として主観的起算点（債権者が権利を行使することができる時）から5年又は客観的起算点（権利を行使することができる時）から10年のいずれか早い方とされている（民法第166条）。

よって、完済されなければ必然的に担保物は没収されることになる。それにもかかわらず、昭和初期の抵当権が抹消されぬまま、現在に至っているのは特に農地に多く見られる。民法上の法律よりも登記制度上のルールが旧態依然として残っているのは疑問であり、将来、公共工事等スムーズに進めるためにも職権での救済も可能とする新法の制定を強く望むものである。

※ 表題部所有者不明土地の登記及び管理の適正化に関する法律
（令和元年法律第15号）

所有者不明土地問題対策の一環として、不動産登記簿の表題部所有者欄の氏名又は名称及び住所の全部又は一部が正常に登記されていない「表題部所有者不明土地」について、その登記及び管理の適正化を図るために必要となる措置を講ずることにより、その権利関係の明確化及びその適正な利用を促進しようとする法律。

概要は、登記官が探索をおこなってもなお所有者を特定することができなかった土地について、新たな財産管理制度（裁判所の選任した管理者による管理）を創設するとしたもの。

住環境課

実施日：令和2年11月11日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在）

*（ ）数字は職員の配置数

課 長 (1)	—	課長補佐 (1)	}	都市・環境係 (3)
			}	住宅係 (2)
			}	下水道係 (4)
				うち再任用短(1)

2 予算執行状況

令和2年度住環境課の歳入予算現額は1,008,243,000円、9月30日までの収入済額は49,695,009円で、収入率は予算現額に対し4.9%、調定額に対し46.9%である。また、繰越明許については、歳入予算現額49,978,800円、収入済額は3,851,800円で、収入率は予算現額に対し7.7%、調定額に対し100%である。

歳出においては、予算現額1,524,432,000円、執行額110,674,380円、予算残額1,413,757,620円で、予算現額に対する執行率は7.2%である。また、繰越明許については、予算現額49,978,800円、執行額は46,116,000円で、予算現額に対する執行率は92.2%である。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
15 使用料及び手数料	105,809,000	105,677,015	49,513,985	56,163,030	46.7	46.8
16 国庫支出金	424,135,000	0	0	0	0.0	0.0
17 県支出金	11,397,000	0	0	0	0.0	0.0
18 財産収入	77,000	4,688	4,688	0	6.0	100.0
19 寄附金	1,000	0	0	0	0.0	0.0
20 繰入金	14,089,000	0	0	0	0.0	0.0
22 諸収入	435,000	129,556	176,336	△ 46,780	40.5	136.1
23 市債	452,300,000	0	0	0	0.0	0.0
合 計	1,008,243,000	105,811,259	49,695,009	56,116,250	4.9	46.9

(繰越明許)

16 国庫支出金	18,627,000	0	0	0	0.0	0.0
21 繰越金	3,851,800	3,851,800	3,851,800	0	100.0	100.0
23 市債	27,500,000	0	0	0	0.0	0.0
合 計	49,978,800	3,851,800	3,851,800	0	7.7	100.0

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
3	民生費		64,668,000	8,589,044	56,078,956	13.2
	4	災害救助費	64,668,000	8,589,044	56,078,956	13.2
		1 災害救助費	449,000	106,943	342,057	23.8
		3 仮設住宅管理費	64,219,000	8,482,101	55,736,899	13.2
4	衛生費		53,652,000	16,184,784	37,467,216	30.1
	1	保健衛生費	53,652,000	16,184,784	37,467,216	30.1
		6 環境政策費	39,557,000	11,982,506	27,574,494	30.2
		7 環境共生基金事業費	14,095,000	4,202,278	9,892,722	29.8
7	土木費		1,228,022,000	53,213,837	1,174,808,163	4.3
	4	都市計画費	321,225,000	17,296,146	303,928,854	5.3
		1 都市計画総務費	36,547,000	17,296,146	19,250,854	47.3
		3 下水道費	284,678,000	0	284,678,000	0.0
	5	住宅費	906,797,000	35,917,691	870,879,309	3.9
		1 住宅管理費	62,964,000	26,309,479	36,654,521	41.7
		2 住宅建設費	843,833,000	9,608,212	834,224,788	1.1
10	災害復旧費		178,090,000	32,686,715	145,403,285	18.3
	5	都市施設災害復旧費	178,090,000	32,686,715	145,403,285	18.3
		2 被災宅地復旧支援事業費	178,090,000	32,686,715	145,403,285	18.3
		合 計	1,524,432,000	110,674,380	1,413,757,620	7.2

(繰越明許)

7	土木費		49,978,800	46,116,000	3,862,800	92.2
	5	住宅費	49,978,800	46,116,000	3,862,800	92.2
		2 住宅建設費	49,978,800	46,116,000	3,862,800	92.2

3 講評・所感

被災宅地復旧支援事業補助金

今期も被災宅地復旧支援事業補助金が数件支払われた。地震発災後は一刻も早く執行されることが、望ましいことは当然であるが、工事が遅れることで施工単価が上昇することもやむを得ないことである。本事業に関しては、他の自治体で業者が不当に補助金の詐取を行ったという事件も発生しており、来期以降、熊本県と密に連携し、要綱に沿った適切な処理を行うよう強く願う。

市営住宅の未収金

住宅料金の未収金が目立ってきている。本債権は市営住宅の維持管理などに費やすための重要な財源でもある。今後は、保証人への支払い期限を決めた連絡はもとより、退去手続きなどの法的措置を講じる必要がある。

下水道受益者負担金の一括納付

下水道受益者負担金を納期前に一括で全納すると交付される報奨金について、下水道事業の収益の面などから検討の余地があると思う。

【下水道事業特別会計】

1 予算執行状況

令和2年度下水道事業特別会計の歳入予算現額は784,804,000円で、9月30日までの収入済額121,232,858円となり、収入率は予算現額に対し15.4%、調定額に対し92.4%である。また、繰越明許については、歳入予算現額162,244,000円、収入済額は8,072,000円で、収入率は予算現額に対し4.9%、調定額に対し100%である。

歳出においては、予算現額784,804,000円、執行額465,955,110円、予算残額318,848,890円で、予算現額に対する執行率は59.3%である。また、繰越明許については、予算現額162,244,000円、執行額は153,310,000円で、予算現額に対する執行率は94.4%である。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
1 分担金及び負担金	1,749,000	40,000	2,217,000	△ 2,177,000	126.7	5,542.5
2 使用料及び手数料	109,467,000	52,067,911	39,976,176	12,091,735	36.5	76.7
3 国庫支出金	142,410,000	0	0	0	0.0	0.0
5 繰入金	284,678,000	0	0	0	0.0	0.0
6 繰越金	79,039,000	79,039,682	79,039,682	0	100.0	100.0
7 諸収入	61,000	40,000	0	40,000	0.0	0.0
8 市債	167,400,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	784,804,000	131,187,593	121,232,858	9,954,735	15.4	92.4

(繰越明許)

3 国庫支出金	84,272,000	0	0	0	0.0	0.0
6 繰越金	8,072,000	8,072,000	8,072,000	0	100.0	100.0
8 市債	69,900,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	162,244,000	8,072,000	8,072,000	0	4.9	100.0

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
1	総務費		117,888,000	84,056,457	33,831,543	71.3
	1	総務管理費	117,888,000	84,056,457	33,831,543	71.3
		1 一般管理費	7,195,000	405,630	6,789,370	5.6
		2 維持管理費	110,693,000	83,650,827	27,042,173	75.5
2	事業費		416,713,000	262,525,347	154,187,653	62.9
	1	下水道事業費	416,713,000	262,525,347	154,187,653	62.9
		1 下水道事業費	416,713,000	262,525,347	154,187,653	62.9
3	公債費		241,537,000	119,373,306	122,163,694	49.4
	1	公債費	241,537,000	119,373,306	122,163,694	49.4
		1 元金	201,730,000	100,537,211	101,192,789	49.8
		2 利子	39,807,000	18,836,095	20,970,905	47.3
4	予備費		8,666,000	0	8,666,000	0.0
	1	予備費	8,666,000	0	8,666,000	0.0
		1 予備費	8,666,000	0	8,666,000	0.0
	合	計	784,804,000	465,955,110	318,848,890	59.3

(繰越明許)

2	事業費		162,244,000	153,310,000	8,934,000	94.4
	1	下水道事業費	162,244,000	153,310,000	8,934,000	94.4
		1 下水道事業費	162,244,000	153,310,000	8,934,000	94.4

【 教 育 部 】

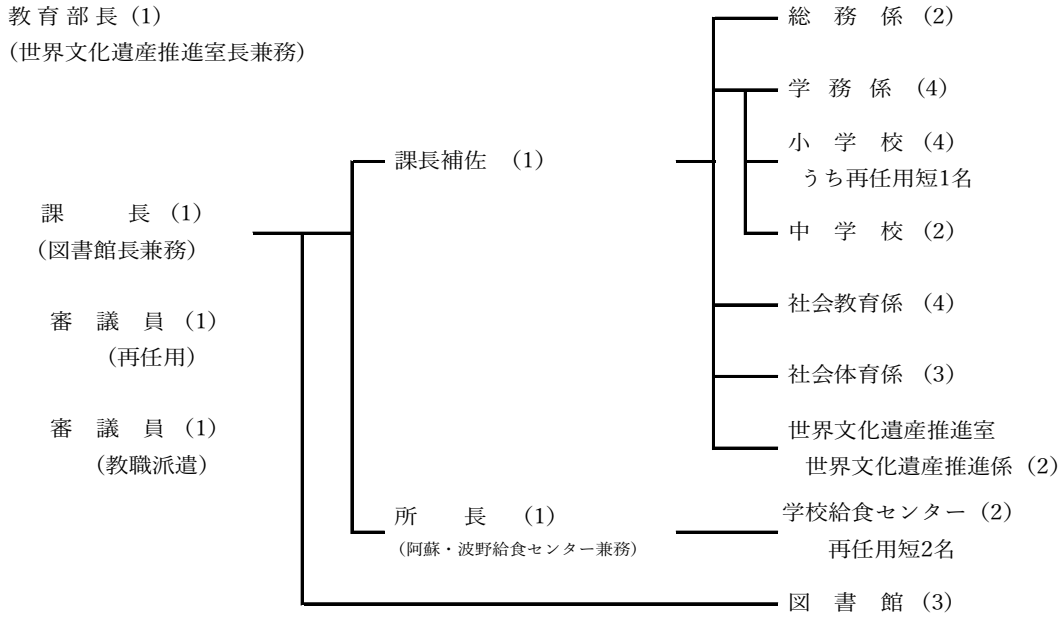
教育課

実施日：令和2年11月10日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在）

*（ ）数字は職員の配置数

教育委員会 - 教育部 - 教育課



2 予算執行状況

令和2年度教育課の歳入予算現額は167,517,000円、9月30日までの収入済額は12,386,077円で、収入率は予算現額に対し7.3%、調定額に対し68.4%である。また、繰越明許については、歳入予算現額111,400,000円、収入済額は36,952,000円で、収入率は予算現額に対し33.1%、調定額に対し100%である。

歳出においては、予算現額1,313,856,163円、執行額791,566,233円、予算残額522,289,930円で、予算現額に対する執行率は60.2%である。また、繰越明許については、予算現額111,400,000円、執行額は98,197,000円で、予算現額に対する執行率は88.1%である。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
14 分担金及び負担金	6,737,000	6,734,920	6,734,920	0	99.9	100.0
15 使用料及び手数料	3,915,000	3,816,765	934,670	2,882,095	23.8	24.4
16 国庫支出金	64,880,000	0	0	0	0.0	0.0
17 県支出金	6,631,000	931,000	931,000	0	14.0	100.0
18 財産収入	341,000	255,339	255,339	0	74.8	100.0
22 諸収入	8,113,000	6,356,028	3,530,148	2,825,880	43.5	55.5
23 市債	76,900,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	167,517,000	18,094,052	12,386,077	5,707,975	7.3	68.4

(繰越明許)

16 国庫支出金	37,248,000	0	0	0	0.0	0.0
21 繰越金	36,952,000	36,952,000	36,952,000	0	100.0	100.0
23 市債	37,200,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	111,400,000	36,952,000	36,952,000	0	33.1	100.0

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
5		農林水産業費	287,000	156,524	130,476	54.5
	1	農業費	287,000	156,524	130,476	54.5
		11 農業構造改善センター管理費	287,000	156,524	130,476	54.5
9		教育費	1,309,421,163	788,100,709	521,320,454	60.1
	1	教育総務費	499,111,000	325,197,050	173,913,950	65.1
		1 教育委員会費	3,548,000	1,893,290	1,654,710	53.3
		2 事務局費	495,563,000	323,303,760	172,259,240	65.2
	2	小学校費	167,138,000	71,529,831	95,608,169	42.7
		1 小学校管理費	142,806,000	60,891,033	81,914,967	42.6
		2 小学校教育振興費	24,332,000	10,638,798	13,693,202	43.7
	3	中学校費	117,400,000	41,234,889	76,165,111	35.1
		1 中学校管理費	76,067,000	34,025,113	42,041,887	44.7
		2 中学校教育振興費	41,333,000	7,209,776	34,123,224	17.4
	4	社会教育費	210,927,000	97,863,595	113,063,405	46.3
		1 社会教育総務費	100,515,000	49,034,478	51,480,522	48.7
		2 生涯学習事業費	1,363,000	779,592	583,408	57.1
		3 文化振興費	8,473,000	3,852,501	4,620,499	45.4
		4 人権同和教育費	7,456,000	1,349,708	6,106,292	18.1
		5 公民館費	14,200,000	10,186,581	4,013,419	71.7
		6 図書館費	58,953,000	24,555,335	34,397,665	41.6
		7 世界遺産推進費(郡市)	12,692,000	2,141,400	10,550,600	16.8
		8 世界遺産推進費(阿蘇市)	7,275,000	5,964,000	1,311,000	81.9
	5	保健体育費	314,845,163	252,275,344	62,569,819	80.1
		1 体育振興費	10,990,000	3,507,240	7,482,760	31.9
		2 体育施設費	174,001,000	150,989,971	23,011,029	86.7
		3 給食センター費	129,854,163	97,778,133	32,076,030	75.2
10		災害復旧費	4,148,000	3,309,000	839,000	79.7
	4	文教施設災害復旧費	4,148,000	3,309,000	839,000	79.7
		2 社会教育施設災害復旧費	4,148,000	3,309,000	839,000	79.7
		合計	1,313,856,163	791,566,233	522,289,930	60.2

(繰越明許)

9		教育費	111,400,000	98,197,000	13,203,000	88.1
	2	小学校費	68,100,000	58,630,000	9,470,000	86.0
		3 小学校建設費	68,100,000	58,630,000	9,470,000	86.0
	3	中学校費	34,300,000	30,800,000	3,500,000	89.7
		3 中学校建設費	34,300,000	30,800,000	3,500,000	89.7
	5	保健体育費	9,000,000	8,767,000	233,000	97.4
		1 体育振興費	9,000,000	8,767,000	233,000	97.4

3 事業の概要

(1) 総務係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
阿蘇市奨学金貸付事業	経済的理由により修学が困難な生徒や学生に対して奨学金の貸付を行い、もって社会に貢献し得る人材の育成を図る。(令和元年度実績：0人、令和2年度申請：0人)	1,080千円 (市単独)

(2) 学務係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
要保護及び準要保護児童生徒就学援助費補助事業	経済的に困窮している世帯に対して学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。 (令和元年実績：14,230千円、163人、入学前支給40人)	18,567千円 要保護 (国庫補助1/2以内) 準要保護 (市単独)
特別支援教育奨励費補助事業	特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対して、就学に必要な学用品費等の援助を行い、特別支援教育の充実を図る。(令和元年度実績：1,943千円、54人)	2,540千円 補助率 国50%
外国語指導助手配置事業	各中学校に外国語指導助手(ALT)を配置し小学校へも派遣することで中学校における外国語教育、国際理解教育等、小学校における外国語活動等の補助を行う。また、地域における国際理解教育の推進に協力する。	10,970千円 単独
各小学校一般工事	各小学校の危険箇所及び老朽化により支障がある箇所の整備を行い、教育環境及び安全安心の確保を図る。 令和元年度実績 工事請負費22,231千円	11,770千円 単独
各中学校一般工事	各中学校の危険箇所及び老朽化により支障がある箇所の整備を行い、教育環境及び安全安心の確保を図る。 令和元年度実績 工事請負費2,611千円	3,120千円 単独

(3) 社会教育係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
社会教育団体への活動補助事業	子ども会、青少年健全育成市民会議、地域婦人会、PTA連絡協議会などの団体に対して補助を行っている。	3,868千円 単独
生涯学習講座事業	主催講座(12講座、受講生51名)、自主講座(30講座、受講生386名)を生涯学習講座として実施している。	1,363千円 単独
公民館関係事業	阿蘇市公民館の他、旧小学校校区単位の公民館組織を立ち上げており、一の宮地区(4分館)、阿蘇地区(7分館)、波野地区(1分館)の計12分館。現在、分館長、主事を委嘱し各種活動を行っている。	5,245千円 単独

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
地域学校協働活動推進事業	<p>子供たちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子供たちが安心して暮らせる環境づくりを推進する。</p> <p>◎地域学校協働活動推進員の配置 事業を推進するため地域学校協働本部を設置し、本部に統括推進員を1名配置し、中学校区ごとに地域と学校をつなぐコーディネーターとして推進員を3名配置する。</p> <p>◎放課後子供教室 放課後や週末に、小学校の余裕教室などを利用して、地域の方々の参加を得て、子供たちと共に学びや文化活動、地域住民との交流を通じて、地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する目的として、平成19年度より実施している。 (実施校5校 一の宮小、阿蘇小、阿蘇西小、内牧小、波野小)</p> <p>◎地域未来塾 希望する生徒に対し教員OBや大学生など地域の方々の協力により学習支援を行う。 (実施校2校 一の宮中、阿蘇中)</p> <p>◎家庭教育支援事業 親への学習機会の提供や相談対応などを行うため家庭教育支援コーディネーターを2名配置。</p> <p>◎その他の活動 学校事業等における学習補助や、教員の業務補助などの学校支援等を行う。</p>	2,433千円 国県補助 2/3
文化財保護事業	指定文化財の台帳整備、史跡の維持管理、民俗文化財保存団体へ活動支援、文化財サインの整備等を中心に保護活動を実施する。	8,383千円 単独

(4) 社会体育係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
生涯スポーツ推進事業	<p>本市の生涯スポーツ振興のため、スポーツ推進委員会と教育委員会主催で阿蘇市民向けの講習会やスポーツ大会を開催し、推進委員とともにスポーツの振興のための各種研修会への参加も行っている。</p> <p>また、各種スポーツ団体への活動に対し補助を行うなどのスポーツ振興を図っている。</p>	10,990千円 単独

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
社会体育施設の運営・維持管理事業	<p>各社会体育施設の運営、維持管理及び老朽化等に伴う危険個所の修繕、工事を実施し、スポーツ環境の整備を図っている。</p> <p>指定管理施設 阿蘇体育館、阿蘇農村公園あびか、一の宮体育館（就業改善センターを含む）、一の宮運動公園、アゼリア21</p> <p>直営施設 坂梨体育館・グラウンド、古城体育館・グラウンド、中通体育館・グラウンド、役犬原体育館・グラウンド、尾ヶ石東部体育・グラウンド、乙姫体育館、山田体育館・グラウンド、波野体育館、波野グラウンド</p>	174,001千円 単独

(5) 世界文化遺産推進係

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
阿蘇の文化的景観保護推進事業 (郡市共同事業)	<p>平成29年に選定された阿蘇の重要文化的景観の範囲拡大を目指して追加選定を予定しており、申し出に必要となる文化的景観の調査事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要文化的景観の追加選定申出に向けた保存調査 阿蘇の文化的景観保存活用計画の改定 景観計画の改定の検討 上記に係る阿蘇の文化的景観マネジメント委員会の開催及び運営 阿蘇の文化的景観リーフレットの作成 	7,029千円 国約49% 県約23% 負担金 約28% 300千円 県50% 負担金50%
その他構成資産に係る事業	<p>中通古墳群測量調査（基準点設置及び三次元計測業務委託、体験学習消耗品等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本大学と合同にて熊本地震後の「米塚」のモニタリング調査、「阿蘇神社」災害復旧事業の支援 	1,309千円 県補助 50%
その他事業	<p>阿蘇郡市世界文化遺産登録事業推進協議会の運営、構成市町村業務の支援、構成市町村に共通した周知啓発、機運醸成等に関する事業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 阿蘇郡市世界文化遺産登録事業推進協議会の運営 各種会議の開催 構成市町村（阿蘇郡市7市町村）の重要文化的景観追加申出に係る作業支援 重要文化的景観の保存管理・整備活用に関する指導助言 住民向け周知啓発（協議会ホームページの管理運営） 協議会事務局事務（会計年度職員の任用含む） 	4,816千円 県19% 負担金 81%

(6) 学校給食センター

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
阿蘇学校給食センター 学校給食事業	<p>学校給食が児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであることを考え、学校給食及び学校給食を活用した食に関する指導の実施、学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図ることを目的とする。この目的を実現するために次に掲げる目標を達成されるよう努めなければならない。</p> <p>(学校給食の目標)</p> <p>①適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。</p> <p>②日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。</p> <p>③学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。</p> <p>④食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p> <p>⑤食生活が食に関わる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。</p> <p>⑥我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。</p> <p>⑦食料の生産流通及び消費について正しい理解に導くこと。</p> <p>◎給食実施校と給食数(教職員を含む。)</p> <p>小学校(4校)</p> <p>一の宮小学校 480食(児童442人、職員38人、14クラス)</p> <p>阿蘇小学校 270食(児童244人、職員26人、9クラス)</p> <p>内牧小学校 352食(児童320人、職員32人、11クラス)</p> <p>阿蘇西小学校 143食(児童123人、職員20人、6クラス)</p> <p>中学校(2校)</p> <p>一の宮中学校 223食(生徒199人、職員24人、6クラス)</p> <p>阿蘇中学校 363食(生徒331人、職員32人、10クラス)</p> <p>給食センター 25食 <u>合計1,856食</u></p> <p>◎給食年間予定実施回数 180回</p> <p>◎取組</p> <p>・栄養士による各学校への食育・栄養指導。</p>	127,887千円 (阿蘇・波野)

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士による献立表の作成 ・各小学校への配膳表、献立予定表の配布 ・食材や食に関するお知らせ等の配布。 ・献立に各地域の伝統料理を取り入れる。 ・アレルギーの児童生徒への対応(現在、12名の児童生徒へ対応を行っている。(小学校6名、中学校6名)) ・食に関わる人々の活動によって支えられていることへの理解を深めるために、職場体験等の受け入れを行う。 	
波野学校給食センター 学校給食事業	<p>1 学校給食が児童生徒の心身の健全な発達に資し、かつ国民の食生活の改善に寄与する目的を基に実施する。</p> <p>(1)日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を養う。</p> <p>(2)学校生活を豊かにし、明るい社会生活を養う。</p> <p>(3)食生活の合理化、栄養改善、健康の増進を図る。</p> <p>(4)食料の生産、配分及び消費について正しく理解する。</p> <p>◎給食実施校と給食数(教職員を含む。)</p> <p style="padding-left: 20px;">波野小学校 57名(児童46人、職員11人)</p> <p style="padding-left: 20px;">波野中学校 44名(生徒28人、職員16人)</p> <p style="padding-left: 20px;">波野給食センター 5名 <u>合計106名</u></p> <p>◎年間給食実施予定数 小学校約180回、中学校約180回</p> <p>2 給食指導の充実と給食の運営管理の徹底</p> <p>(1)食に関する指導の充実</p> <p>(2)おいしくて栄養バランスの取れた食事の推進</p> <p>(3)児童生徒が主体的に選択できる食事の推進(リクエスト給食・季節の行事食等を年数回実施)</p> <p>(4)調理場の運営管理体制の整備と充実、衛生管理の徹底</p> <p>(5)アレルギー食への対応の徹底</p> <p>※給食センターを小中学校の間に併設し、ランチルームを設けたことで、小中学校生徒・児童の交流できることや、調理場が見えることで、食する者と、調理する者双方から意識の改善がみられるようになった。</p>	

(7) 図書館（一の宮・阿蘇）

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
図書資料・視聴覚資料などの収集	<p>図書資料や視聴覚資料を収集し、住民の生涯学習の一助とする。また、市の財産として後世に残すべき資料の収集も行う。</p>	7,500千円 単独

事務事業名	事業内容及び現況	事業費
図書館業務システム 関連 (クラウドシステム使用料、TOOL i 使用料及び書誌データ作成業務委託料)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館業務システム(クラウド方式)により貸出、返却、検索、所蔵管理などの業務を行う。 ・ホームページを公開し、図書館の情報や図書資料の案内、予約受付などを常時行う。 ・図書館流通センターのデータベースから書誌データのダウンロードおよび図書の発注を行うための専用回線を使用する。 ・購入した書籍の書誌データ(マーク)の作成委託 	3,625千円 単独

4 講評・所感

学校給食費(過年度)の納付について、平成10年度から平成13年度にかけて、児童2人の調定額188,010円のうち平成18年度に15,000円納付以後15年間の支払い無し。時効の適用さえも無いようなことについて、不納欠損処理の検討も必要に感じる。ただし、法的には担当者の行為自体に責任が及ぶこともあるので慎重で速やかな対応が大切であろう。

同じような内容に奨学金貸付の過年度未収金がある。平成24年8月の日付の誓約書があるが、順守されなければ、当事者、保証人共々に厳しい法的措置も必要である。債権回収については、そろそろ次の段階に進むべきであるものと強く感じる。

「法にあぐらをかく者に法の擁護なし」

会 計 課

実施日：令和 2 年 11 月 24 日

1 職員の配置（令和 2 年 4 月 1 日現在） *（ ）数字は職員の配置数

会計管理者 (1) 課長補佐 (1) 会 計 係
 (会計課長) (企業出納員兼務) (2)

2 予算執行状況

令和 2 年度会計課の歳出予算現額は 11,035,000 円、執行額 7,170,555 円、予算残額 3,864,445 円で、予算現額に対する執行率は 64.9%である。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		11,035,000	7,170,555	3,864,445	64.9
	1	総務管理費	11,035,000	7,170,555	3,864,445	64.9
		4 会計管理費	11,035,000	7,170,555	3,864,445	64.9

3 講評・所感

特になし

農業委員会事務局

実施日：令和2年11月24日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在）

*（ ）数字は職員の配置数

農業委員会事務局長（1） 一 次 長（1） 一 農地調整係（2）

2 予算執行状況

令和2年度農業委員会の歳入予算現額は7,883,000円、9月30日までの収入済額は1,084,200円で、収入率は予算現額に対し13.7%、調定額に対し97.6%である。

歳出においては、予算現額53,985,000円、執行額24,876,511円、予算残額29,108,489円で、予算現額に対する執行率は46.0%である。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
15 使用料及び手数料	45,000	45,000	18,600	26,400	41.3	41.3
17 県支出金	6,689,000	0	0	0	0.0	0.0
22 諸収入	1,149,000	1,065,600	1,065,600	0	92.7	100.0
合 計	7,883,000	1,110,600	1,084,200	26,400	13.7	97.6

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
5		農林水産業費	53,985,000	24,876,511	29,108,489	46.0
	1	農業費	53,985,000	24,876,511	29,108,489	46.0
		1 農業委員会費	49,331,000	24,152,463	25,178,537	48.9
		8 農業者年金費	545,000	209,094	335,906	38.3
		9 農地流動化等推進事業費	4,109,000	514,954	3,594,046	12.5

3 講評・所感

特になし

選挙管理委員会

実施日：令和2年11月17日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在）

*（ ）数字は職員の配置数

選挙管理委員会事務局長 事務局次長
 （総務部長兼務） （総務課長兼務） 総務課総務係兼務

2 予算の執行状況

令和2年度選挙管理委員会の歳入予算現額は1,000円で、9月30日までの収入済額0円となり、収入率は予算現額、調定額ともに0%である。

歳出においては、予算現額15,490,000円で、執行額454,112円、予算残額15,035,888円、予算現額に対する執行率は2.9%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
17 県支出金	1,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	1,000	0	0	0	0.0	0.0

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		15,490,000	454,112	15,035,888	2.9
	4	選挙費	15,490,000	454,112	15,035,888	2.9
		1 選挙管理委員会費	1,260,000	401,748	858,252	31.8
		2 選挙啓発費	98,000	50,400	47,600	51.4
		3 市長選挙費	14,132,000	1,964	14,130,036	0.0

3 講評・所感

特になし

議会事務局

実施日：令和2年11月24日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在） *（ ）数字は職員の配置数

議会事務局長（1） — 次長（1） — 庶務係（1）

2 予算執行状況

令和2年度議会事務局の歳出予算現額は142,574,000円、執行額83,452,093円、予算残額59,121,907円で、予算現額に対する執行率は58.5%である。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(1) 歳出の状況

(単位：円：%)

	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
1	議会費		142,574,000	83,452,093	59,121,907	58.5
	1	議会費	142,574,000	83,452,093	59,121,907	58.5
		1 議会費	142,574,000	83,452,093	59,121,907	58.5

3 講評・所感

特になし

監査委員事務局

実施日：令和2年11月24日

1 職員の配置（令和2年4月1日現在）

*（ ）数字は職員の配置数

監査事務局長（1） ——— 書記（1）

2 予算執行状況

令和2年度監査委員事務局の歳出予算現額は20,029,000円、執行額9,201,013円、予算残額10,827,987円で、予算現額に対する執行率は45.9%である。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。

(2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		20,029,000	9,201,013	10,827,987	45.9
	6	監査委員費	20,029,000	9,201,013	10,827,987	45.9
		1 監査委員費	20,029,000	9,201,013	10,827,987	45.9

3 講評・所感

特になし

繰出金

1 保健衛生総務費（阿蘇市病院事業）

令和2年度阿蘇市病院事業への繰出金（歳出予算現額）は382,652,000円、執行額は同額で、予算現額に対する執行率は100%である。

2 水道費（阿蘇市水道事業）

令和2年度阿蘇市水道事業への繰出金（歳出予算現額）は49,298,000円、執行額0円で、予算現額に対する執行率は0%である。

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
4	衛生費		431,950,000	382,652,000	49,298,000	88.5
	1	保健衛生費	431,950,000	382,652,000	49,298,000	88.5
		1 保健衛生総務費	382,652,000	382,652,000	0	100.0
		12 水道費	49,298,000	0	49,298,000	0.0